

---

東郷町子どもの権利に関する条例制定のための  
町民アンケート報告書

---

平成 25 年 9 月

愛 知 県 東 郷 町

## 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1 アンケートの目的 .....	2
2 調査概要 .....	2
<b>II 小学5年生・中学2年生調査結果</b> .....	3
1 回答者の属性 .....	4
2 子どもの権利に関する思いについて .....	5
3 東郷町のまちづくりについて .....	9
4 力になってほしい大人について .....	10
5 子どもの権利に関する条例について .....	14
6 主な自由意見・要望 .....	15
<b>III 18歳以上調査結果</b> .....	17
1 回答者の属性 .....	18
2 子どもの権利に対する理解 .....	20
3 子どもを支援すべき大人について .....	27
4 子どもの権利に関する条例について .....	34
5 主な自由意見 .....	35

# I 調査の概要

## 1 アンケートの目的

本アンケートは、「(仮称) 東郷町子どもの権利に関する条例」の制定資料として、子どもの権利に関して、住民がどのような認識を持っているか把握することを目的に実施しました。

## 2 調査概要

### (1) 調査の方法

調査地域	東郷町全域	
調査対象	東郷町立小学校・中学校に在学する 「小学5年生・中学2年生」	東郷町在住の18歳以上の 「一般町民」
対象者数	1,022人	1,000人
抽出方法	—	住民基本台帳より無作為抽出
調査期間	平成25年6月28日～7月12日	平成25年7月1日～7月26日
調査方法	学校経由で配布・回収	郵送配布・郵送回収

### (2) 回収結果

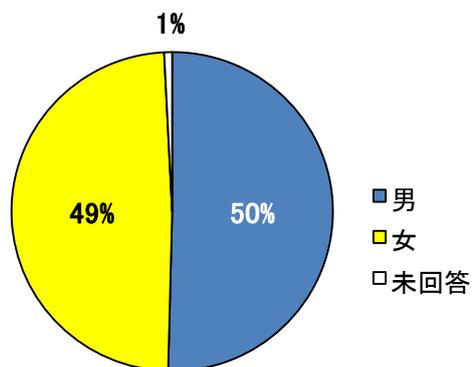
	小学5年生・中学2年生	一般町民	合計
配布数	1,022	1,000	2,022
回収数	997	288	1,285
有効回収数	997	288	1,285
有効回収率	97.6%	28.8%	63.6%

## **II 小学5年生・中学2年生調査結果**

# 1 回答者の属性

## (1) 回答者の性別

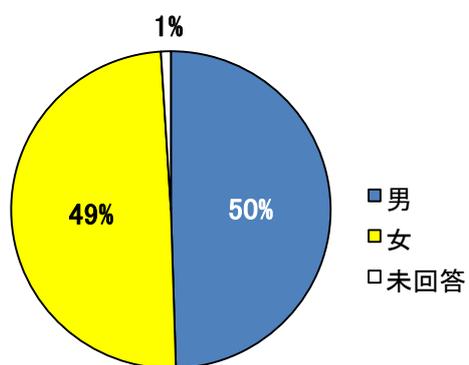
### ① 小学5年生



(人)

全体	498
男	251
女	243
無回答	4

### ② 中学2年生



(人)

全体	499
男	247
女	247
無回答	5

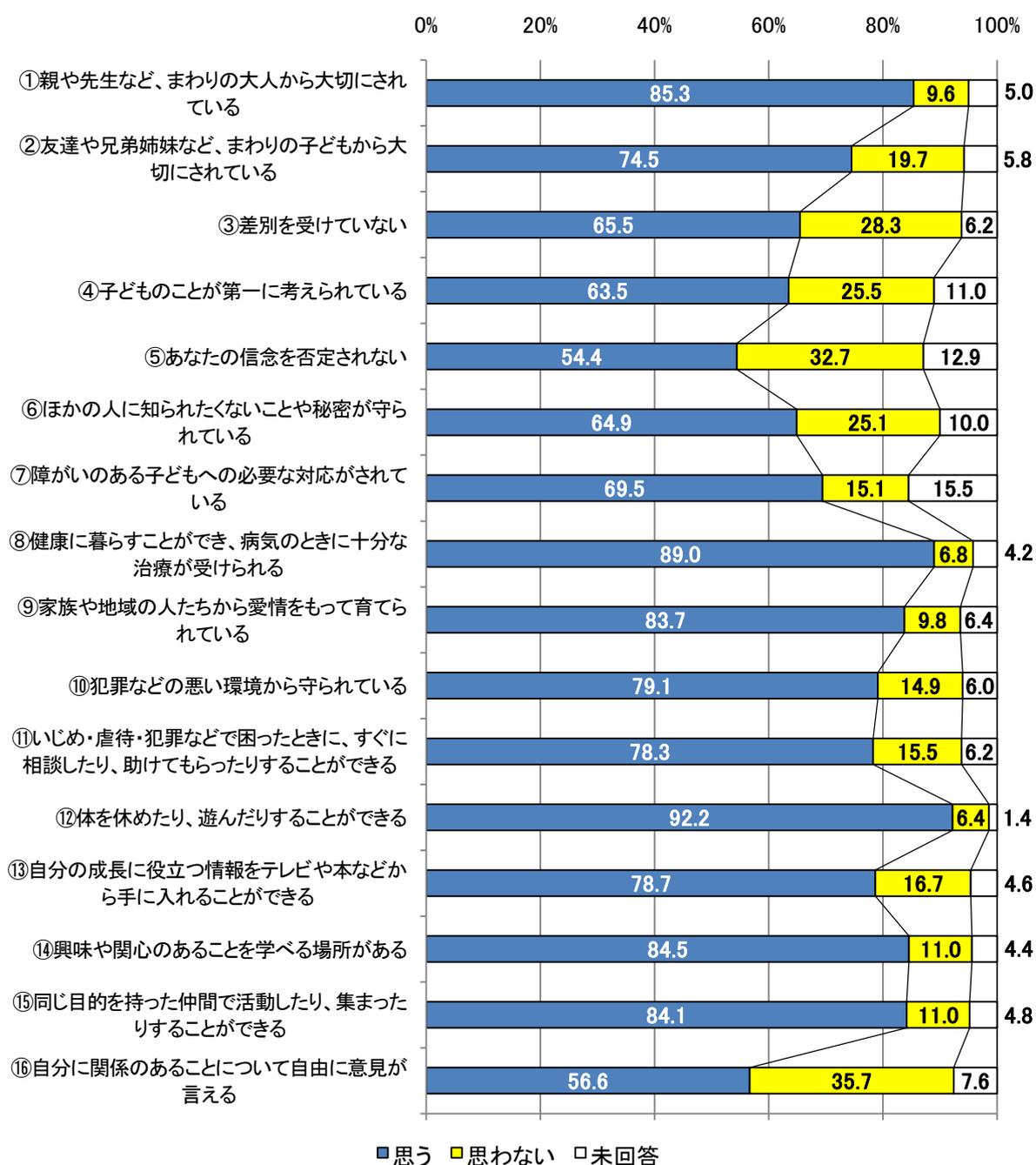
## 2 子どもの権利に関する思いについて

問1 子どもの権利条約に書いてある子どもの権利について、「思う」「思わない」のどちらかに○をつけてください。(答えたくない内容やわからない内容には、答える必要はありません。)(単数回答)

### (1) 小学5年生

「思う」と回答した割合が最も高かったのは、「⑫体を休めたり、遊んだりすることができる」で、92.2%であった。最も割合が低かったのは、「⑤あなたの信念を否定されない」で、54.4%であった。また、「思わない」と回答した割合が最も高かったのは、「⑩自分に関係のあることについて自由に意見が言える」で、35.7%であった。

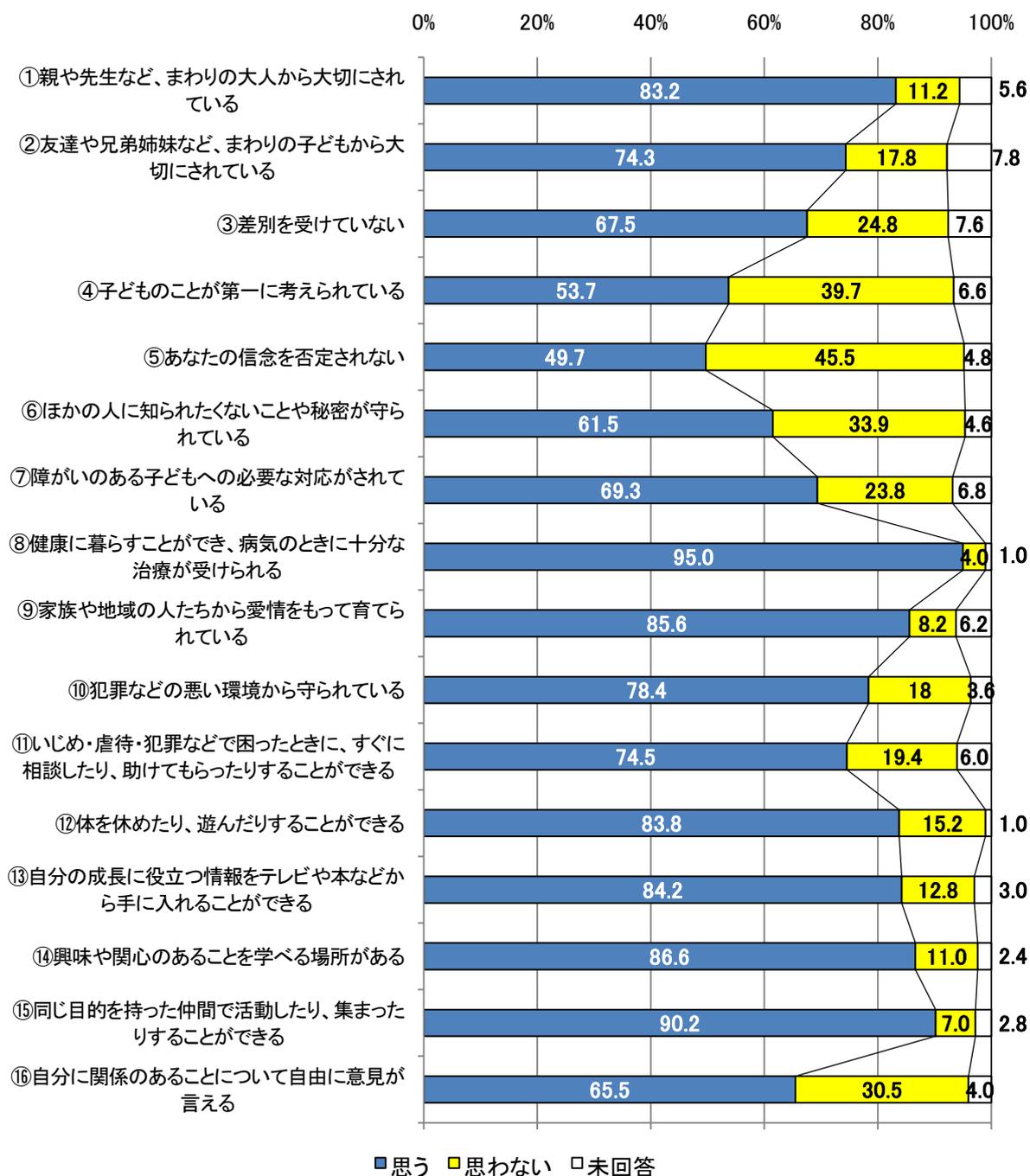
※N(回答者数)=498



## (2) 中学2年生

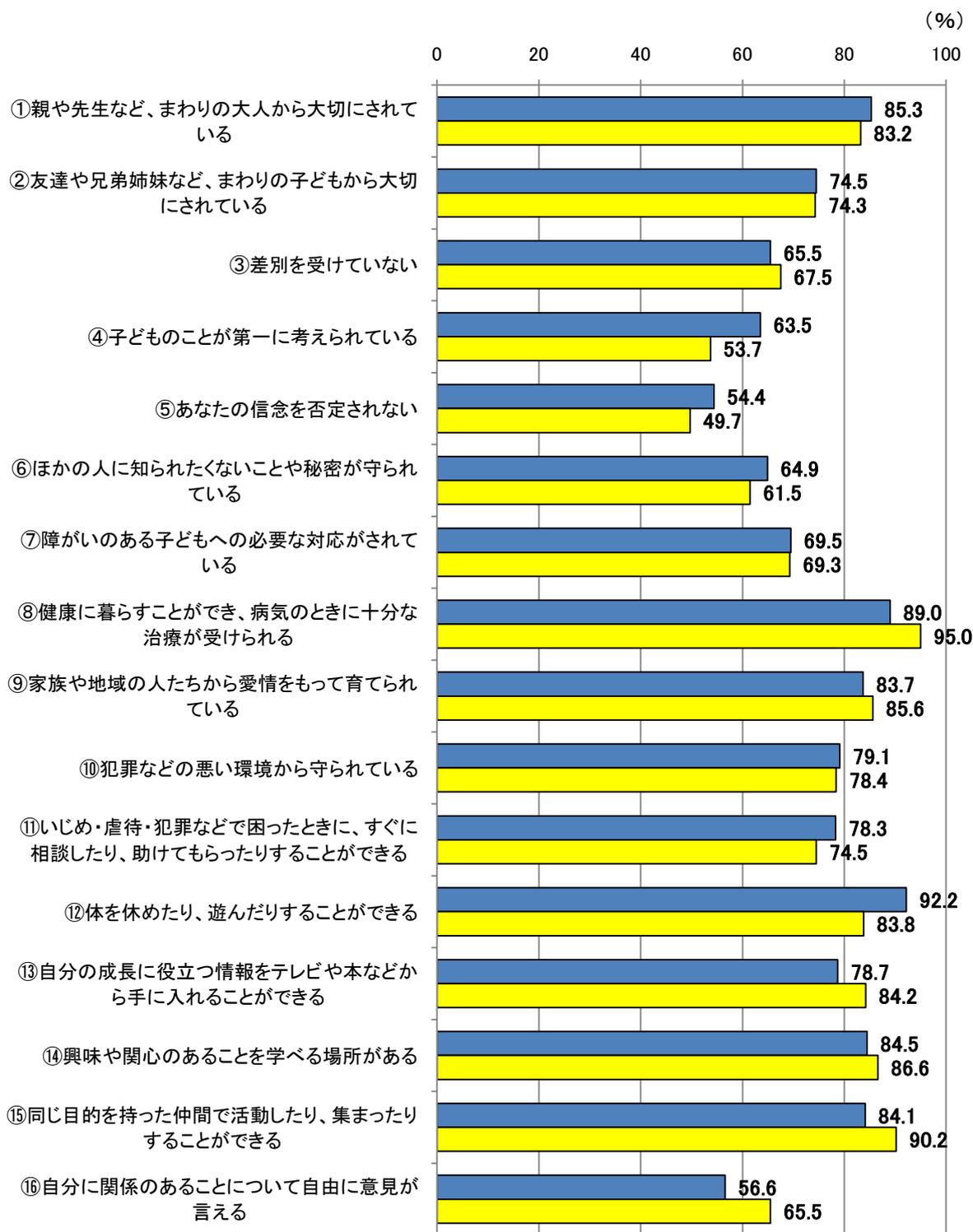
「思う」と回答した割合が最も高かったのは、「⑧健康に暮らすことができ、病気のとときに十分な治療が受けられる」で、95.0%であった。割合が最も低かったのは、小学5年生と同じく「⑤あなたの信念を否定されない」で、49.7%であった。

※N(回答者数)=499



### (3) 小学5年生・中学2年生の意識の比較（「思う」と回答した割合）

※N＝回答者数

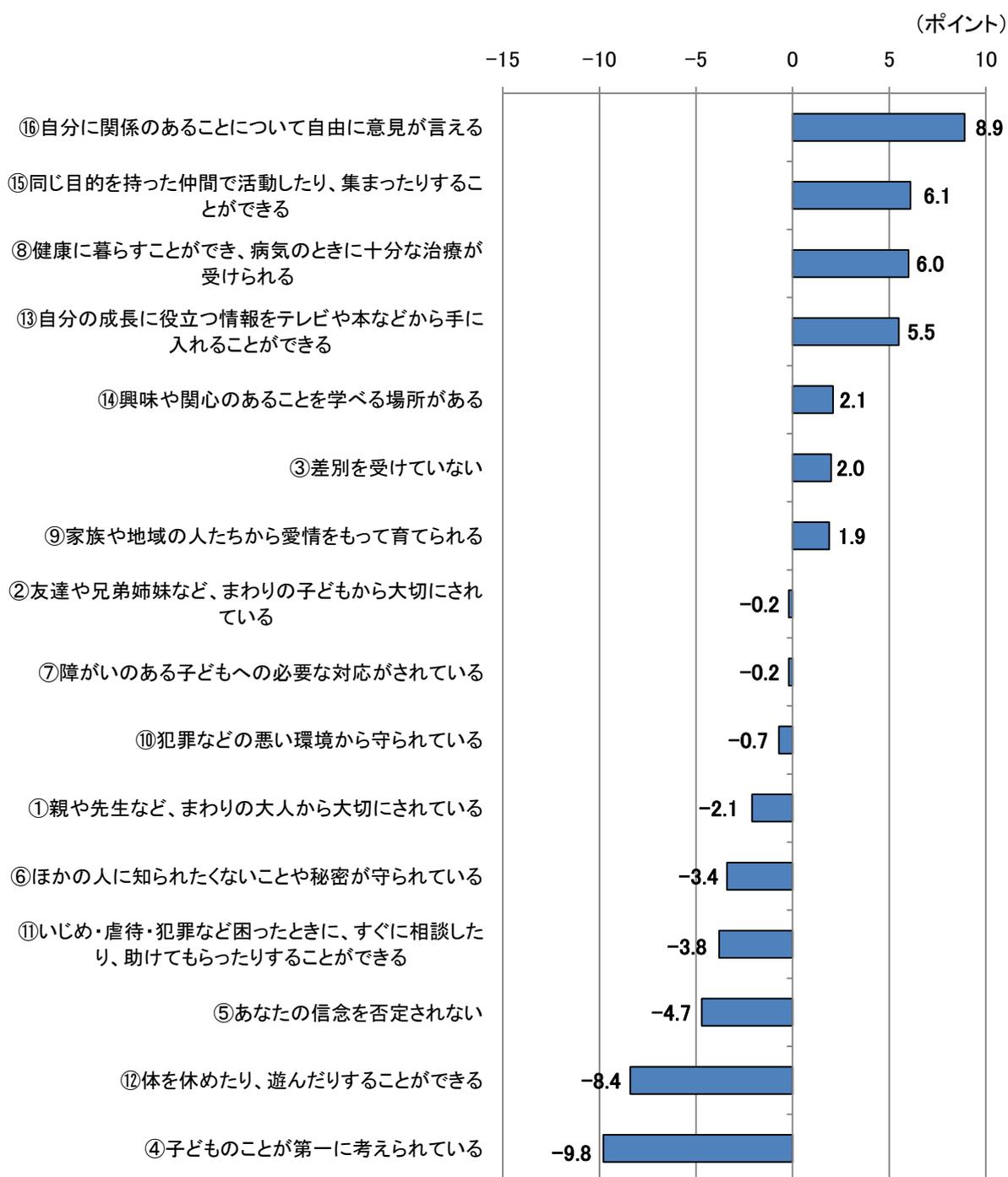


■小学5年生 (N=498) ■中学2年生 (N=499)

#### (4) 小学5年生と中学2年生の意識の変化

(中学2年生で「思う」と回答した割合から小学5年生で「思う」と回答した割合を差し引いた数値)

小学5年生から中学2年生になって「思う」という意識が高くなるのは、「⑯自分に関係のあることについて自由に意見が言える」であった。反対に「思う」という意識が低くなるのは、「④子どものことが第一に考えられている」であった。

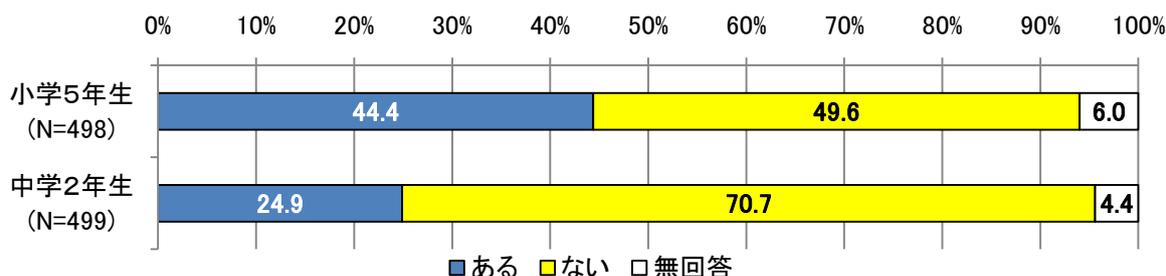


### 3 東郷町のまちづくりについて

問2① よりよい学校づくりやまちづくりについて、自分の意見を言ったり、活動をしたりすることがありますか。(単数回答)

中学生より小学生の方が学校づくりやまちづくりに対し、自分から積極的に働きかけていることが分かる。

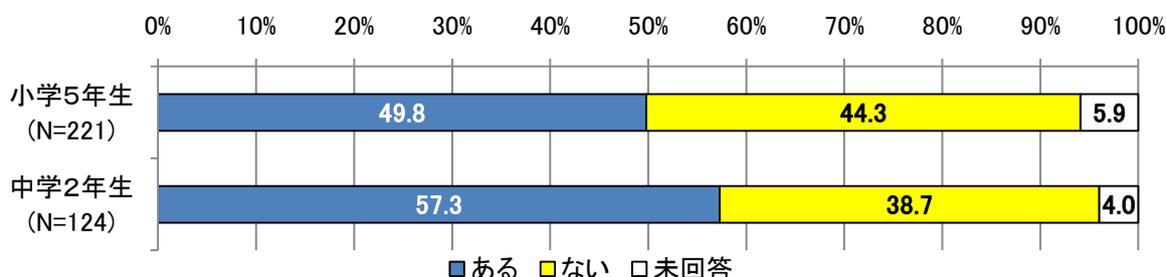
※N=回答者数



問2② 自分の意見を言ったり活動したりするときに、反対されたり、じゃまされたりしたことはありますか。(①で「ある」と答えた人のみ。単数回答)

中学生の方が自分の意見や活動に反対される割合が高い。反対されることが多いために、自主的な発言や行動が抑制されていることも考えられる。

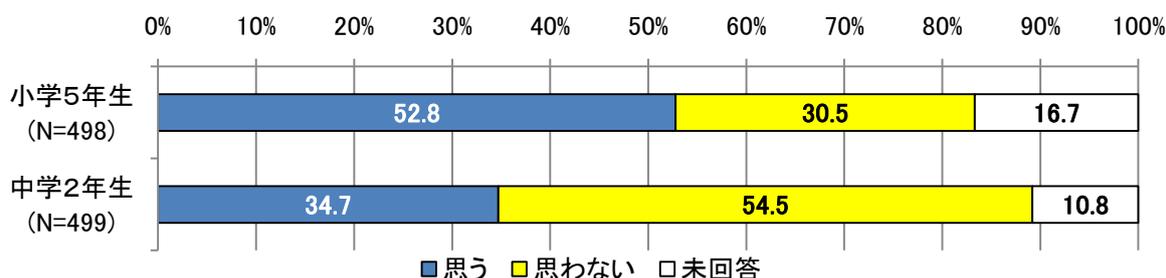
※N=回答者数



問2③ 東郷町は、子どもの意見や考えを聞いてまちづくりをすすめていると思いますか。(単数回答)

自主的な発言や行動が、あまり否定されていない小学生の方が、子どもの意見を聞いてまちづくりが進められていると感じている。

※N=回答者数



## 4 力になってほしい大人について

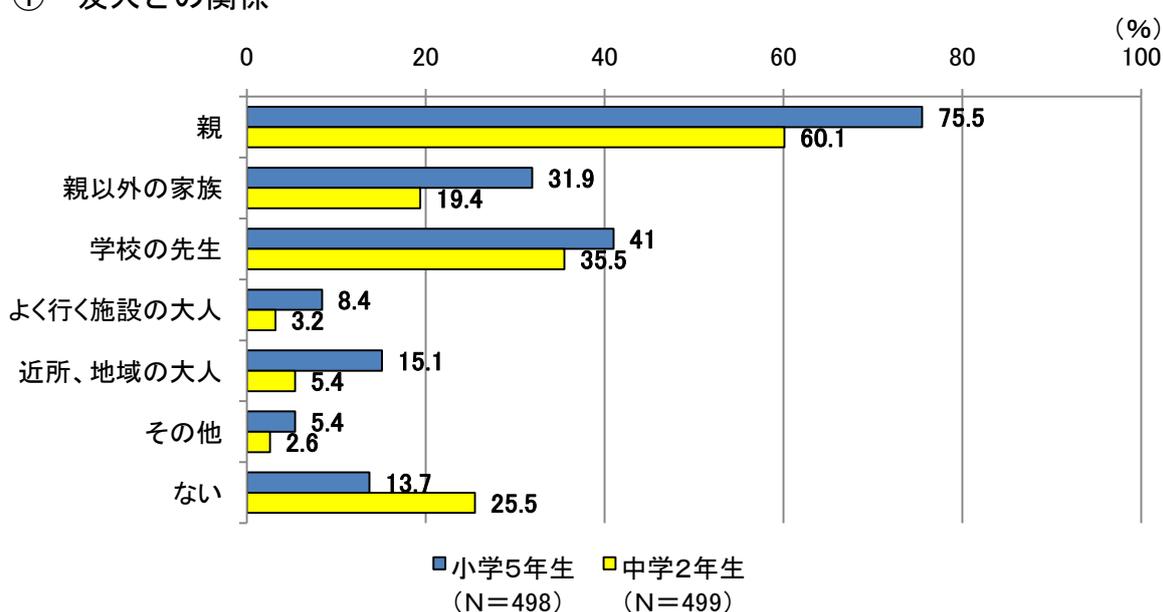
問3 あなたが、生活したり、学んだり、遊んだりするとき、あなたのまわりの大人に力になってほしいことはありますか。「力になって欲しい大人」について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(複数回答)

### (1) 「生活の場面」別

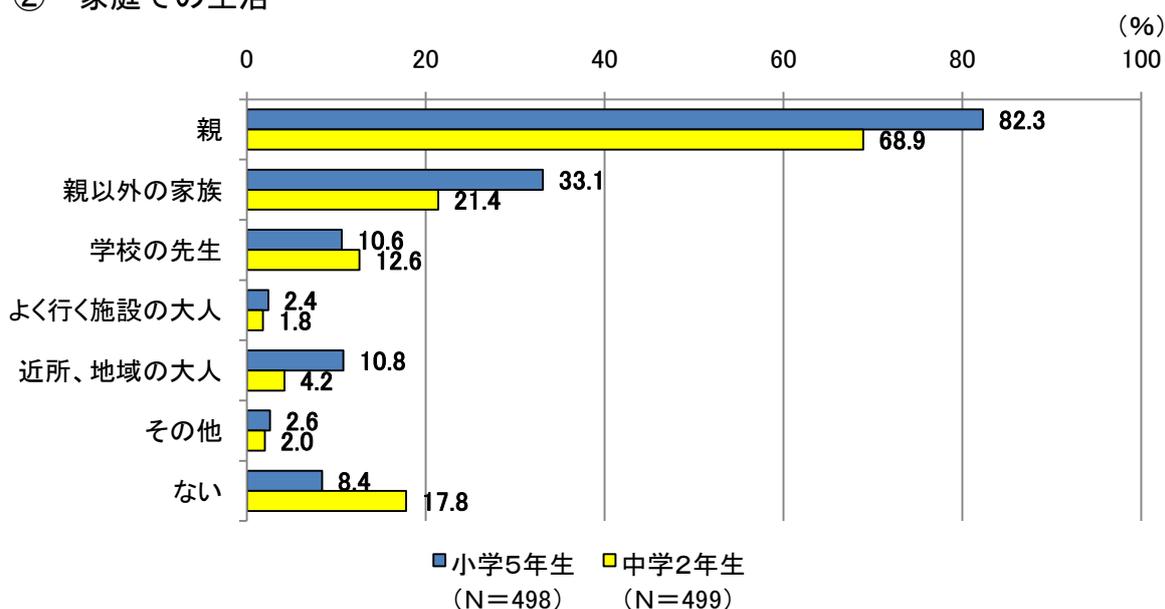
小学5年生・中学2年生ともに、「学校での生活」では、「学校の先生」と回答する割合が最も高かった。それ以外の設問では、「親に力になってほしい」と回答する割合が最も高かった。

※N=回答者数

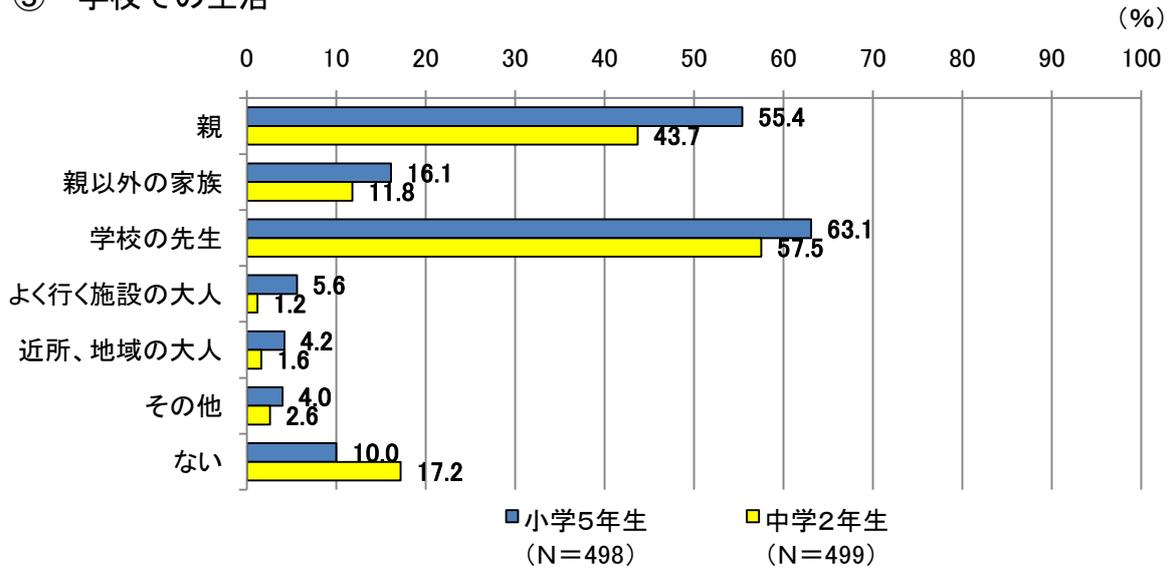
#### ① 友人との関係



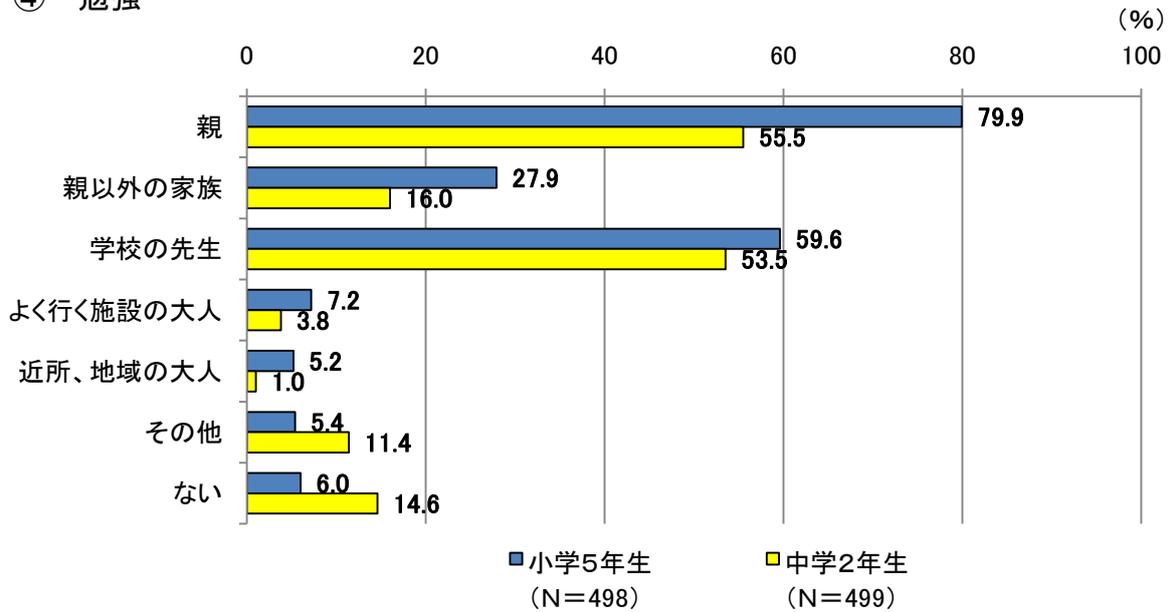
#### ② 家庭での生活



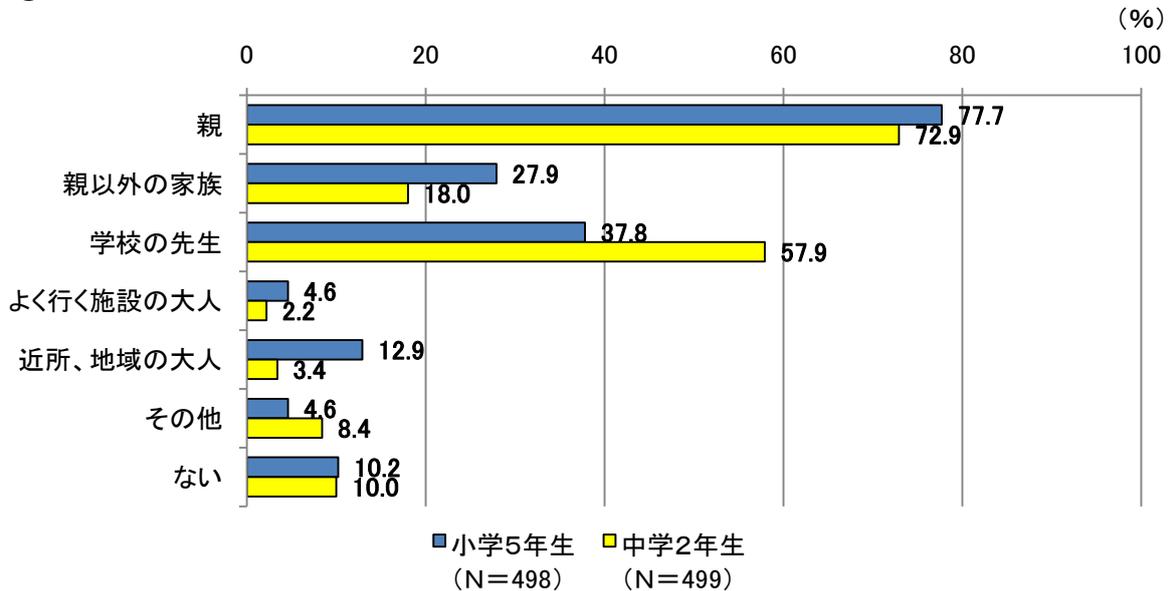
③ 学校での生活



④ 勉強



⑤ 進路・進学

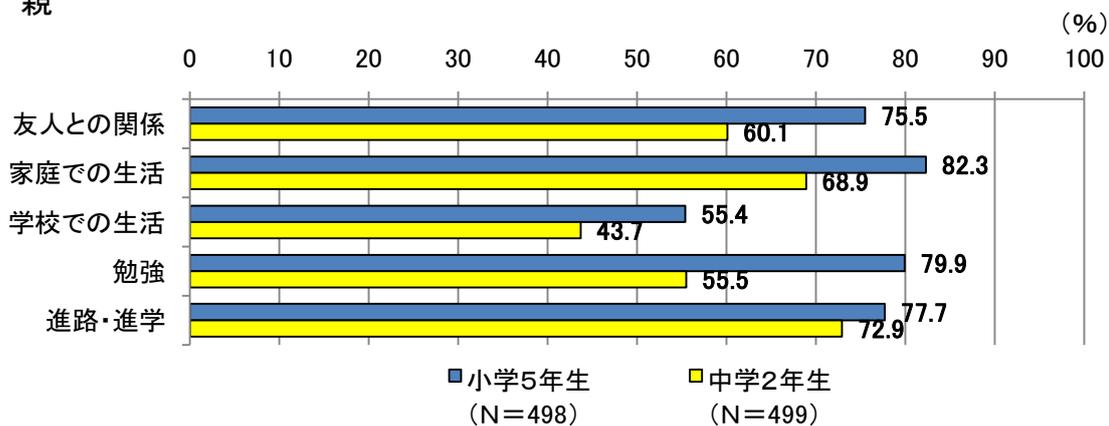


## (2) 「力になってほしい大人」別

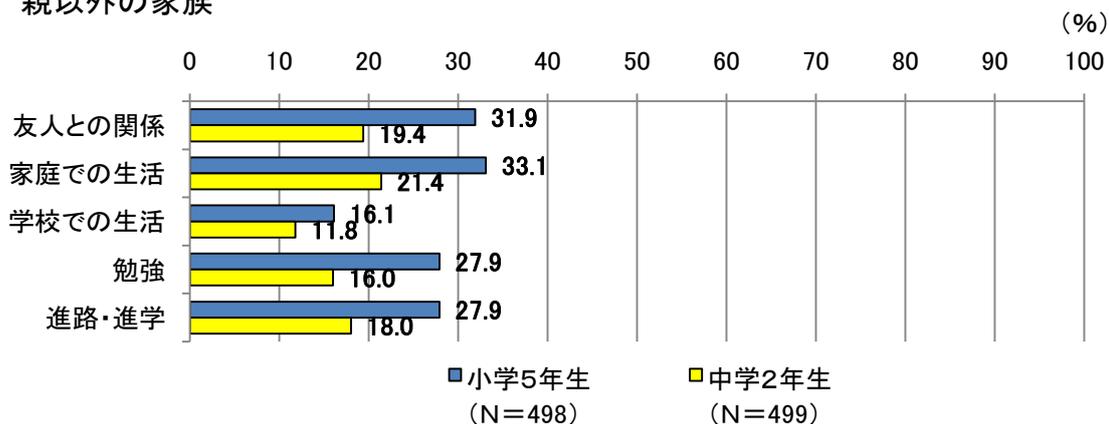
いずれの大人についても、中学生になると、力になってほしいと思う割合が低くなる傾向にあり、「⑦ない」と回答した割合が高くなる傾向にある。「⑥その他」では「塾の先生」との意見が多数あった。

※N＝回答者数

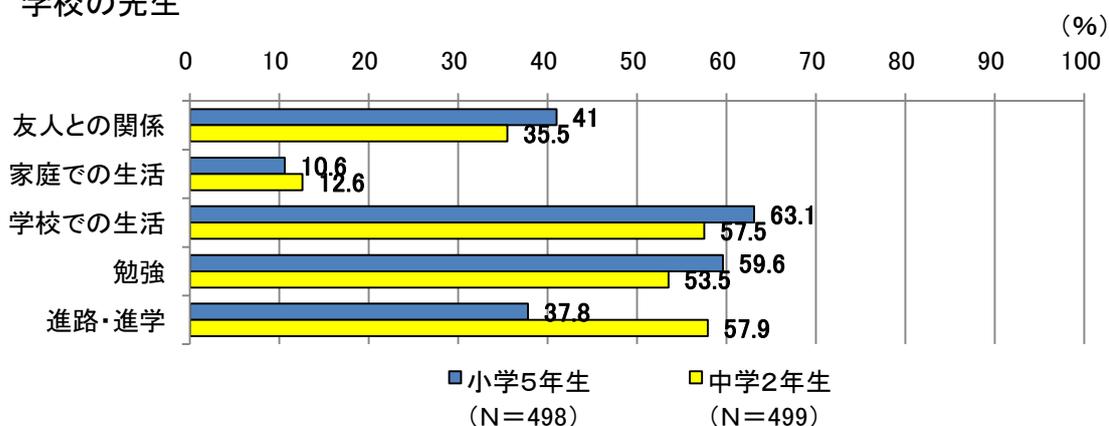
### ① 親



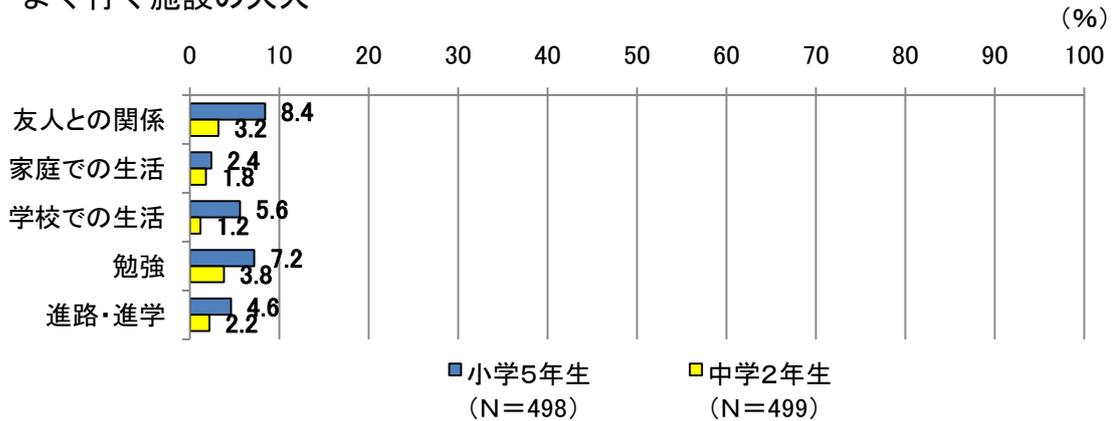
### ② 親以外の家族



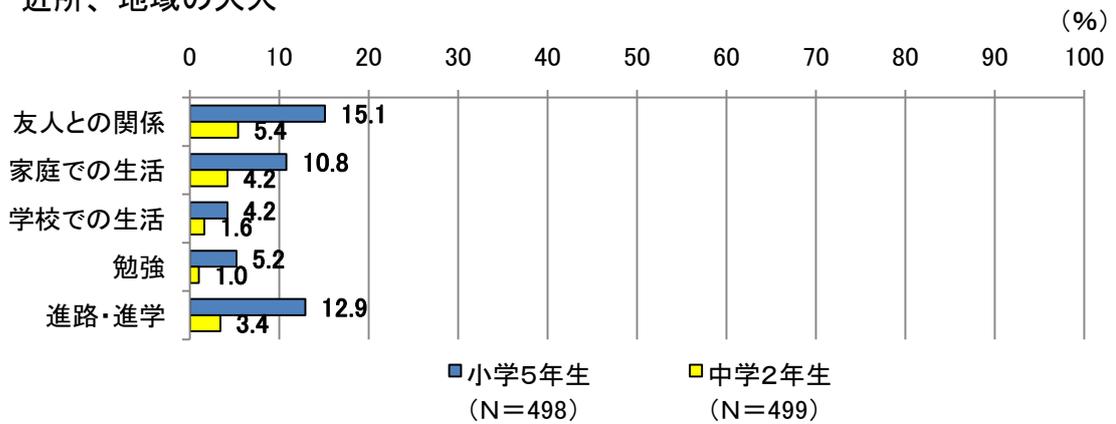
### ③ 学校の先生



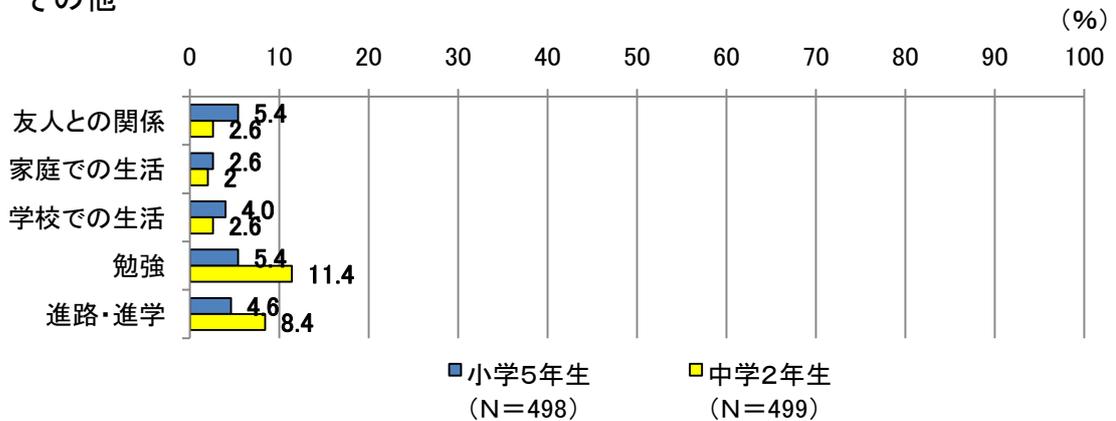
④ よく行く施設の大人



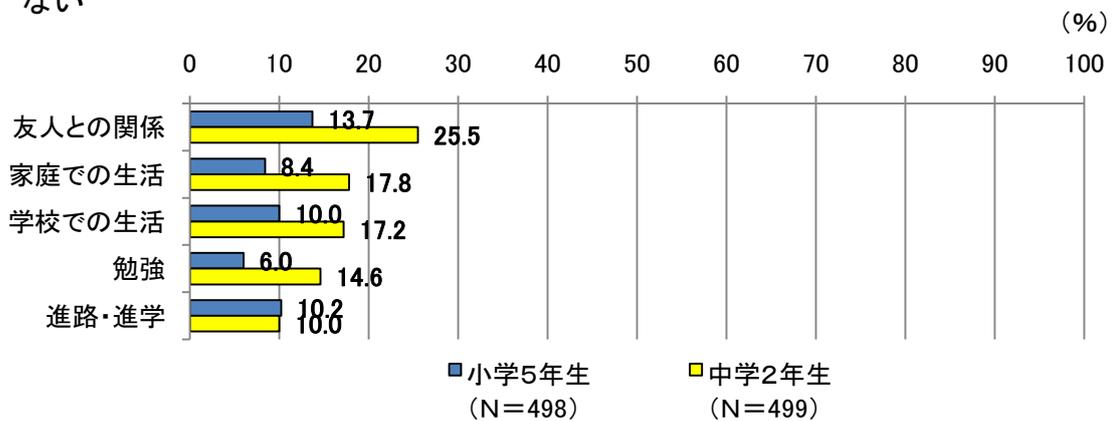
⑤ 近所、地域の大人



⑥ その他



⑦ ない

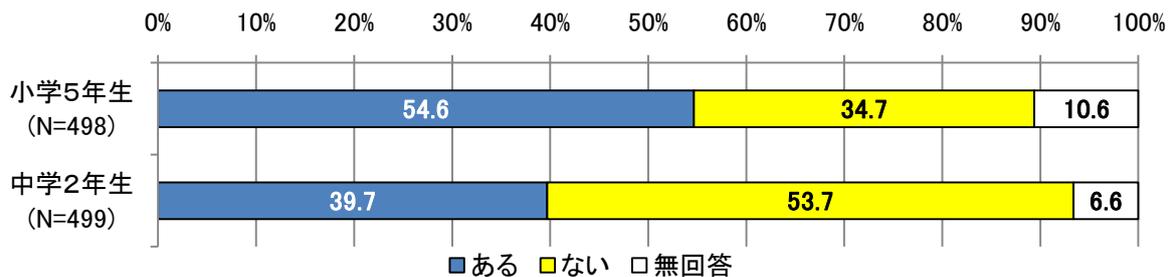


## 5 子どもの権利に関する条例について

問4 東郷町が子どもの権利に関するきまり（条例）をつくることについて、関心がありますか。（単数回答）

小学生では、関心がある人の割合は5割を超えている。一方、中学生では、関心のある人の割合は4割を下回っている。

※N=回答者数



## 6 主な自由意見・要望

---

---

いじめや差別をなくしてほしいという声や子どもの意見も聞いてほしいなどの意見が多くあった。また、子どもの居場所づくりや楽しいまちにしてほしいなどの要望もあった。

---

### 〈いじめ・差別〉

- ・子供みんなが、いじめや差別がなくて、安全安心して暮らせる町にして欲しいと思います。
- ・いじめのない東郷町にしたい。
- ・学校でのいじめなど、たとえ小さい悪戯みたいなものも、しっかりと観察をして、見えない所で誰かがいじめられていないか確認などの活動をして欲しい。
- ・もっといじめを少なくして欲しい。
- ・東郷町内でいじめを無くす取り組みをしたほうがいい。
- ・大人は自分のことを子供より偉いと思わず、大人と子供の差別を無くして欲しい。
- ・男女の差を止めて欲しい。(例) 女子に甘くて男子に厳しいとか。
- ・赤ちゃんや小さな子供、小学生よりもお年寄りを優先的にしないで欲しい。平等にして欲しい。

### 〈子どもの意見や権利・条例〉

- ・子どもも権利があるので、子どもの意見もしっかり聞いて欲しい。
- ・決められた条例がしっかりと順守されることを願います。
- ・子どもの意見をきちんと聞いて欲しい。優先しなくてもいいが、何か子どもが言っていたら、その意見など聞いて欲しい。
- ・子供の権利ってなんですか？結局全部決めるのは大人だと思います。このままだと、子供に権利なんて無いと思います。
- ・条例をつくるのはかまわないが、それに子どもが縛られたり、気持ちよく生活できなくなるようだったら嫌だ。
- ・いい案だと思うので応援します。がんばってください。
- ・子どもが楽しくなる条例を作って下さい。
- ・先生や親の言うことは絶対守るって感じになっているけど、子供の言うことも聞いて欲しい。
- ・しっかりとみんなの意見を大人達の都合だけではなく取り入れて欲しい。
- ・親にも知らせなければ、結局変わらずになってしまうと思う。日本全国でだが、子どもが親を否定する権利がない。
- ・部活に入るか入らないや、塾を止めるか止めないかは自分で決めたい。

### 〈まちづくり〉

- ・これから子どもやお年寄りの人たちやみんなが暮らせる東郷町を作る力になりたい。
- ・僕は東郷町が何をしているのか良くわかりません。そのため、もっと知りたいと思います。なので具体的な事をやってもらえると嬉しいです。
- ・私は東郷町のことが好きです。
- ・子供達で楽しめる有名になるようなイベントを行って欲しい。
- ・ジャスコなどの施設を増やして欲しい。
- ・自然、緑を大切に、そんなに開発して欲しくない。
- ・図書館の閉館時間が、早すぎると思います。
- ・高齢者向けの場所ばかりで、中学生や小学生の高学年の人が遊べる場所が少ないと思います。
- ・中学生くらいの人達が集まれる集会室などを作って欲しい。
- ・もっと子どもの遊べる広場を作る。

- ・子供が自由に意見を言えるような場所を作ったり、家ばかりではなく公園など、子供が遊べる場所を作ったりしたほうが、子供が外で遊ぶ機会が増えるのではないかと思います。
- ・子ども達が町について話あう場所を増やして欲しい。また、そこで出た意見を活用して欲しい。
- ・私達も挨拶や活動をスラスラと行えるようにしていきたい。笑顔であふれる東郷町にしたい。

#### 〈学校・その他〉

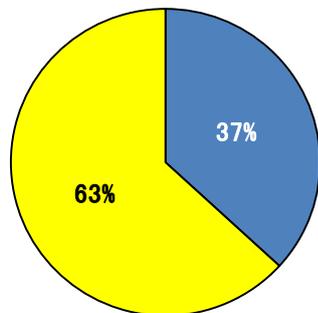
- ・もっと学校の人と人との関係を見て欲しい。
- ・障害者の扱いや学校などの管理・学習環境等にもう少し力を入れていただけるといいと思う。
- ・とにかく勉強に集中しやすい場所を作って欲しい。
- ・生徒がもっとのびのびと生活できる様にして欲しい。規則や先生にしばりつけられておくる学校生活はしたくない。
- ・学校の校外学習を増やして欲しい。
- ・学校からスクールカーストをなくしてほしい。チャイルドラインにかけやすくしてほしい。友達との絆を深めることをしたい。
- ・東郷町に大人でも子どもでも相談を聞いてくれる電話があるといい。
- ・医療費などの支援。障害のある子どもが楽しく暮らせる場所を作ること。差別を無くして欲しい。親が心配しない、余りお金が掛からないようにして欲しい。自由で楽しい場所を作って欲しい。

### **Ⅲ 18 歲以上調查結果**

# 1 回答者の属性

## (1) 回答者の性別と年代

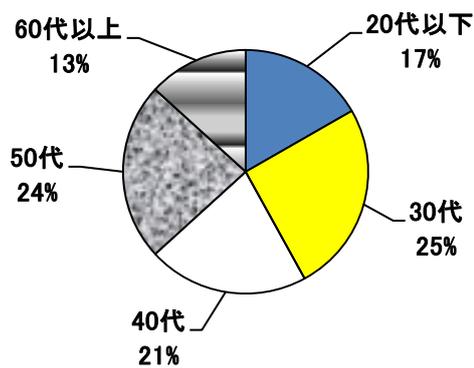
### ① 性別



■ 男  
■ 女

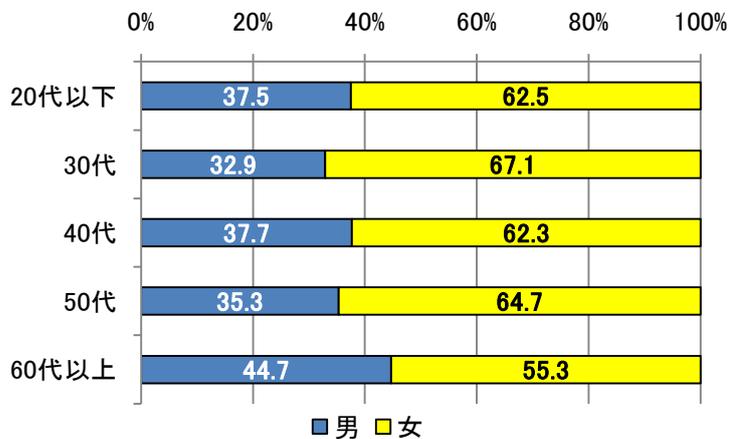
(人)	
全体	288
男	106
女	182

### ② 年代



(人)	
全体	288
20代以下	48
30代	73
40代	61
50代	68
60代以上	38

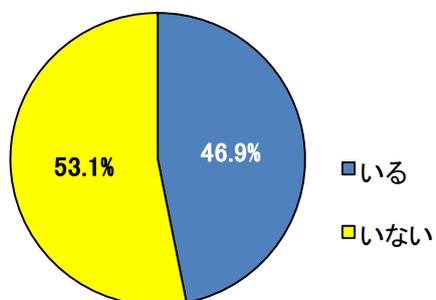
### ③ 年代別・性別



(人)		
	男	女
20代以下	18	30
30代	24	49
40代	23	38
50代	24	44
60代以上	17	21

(2) 回答者に18歳未満の子どもがいるかどうか

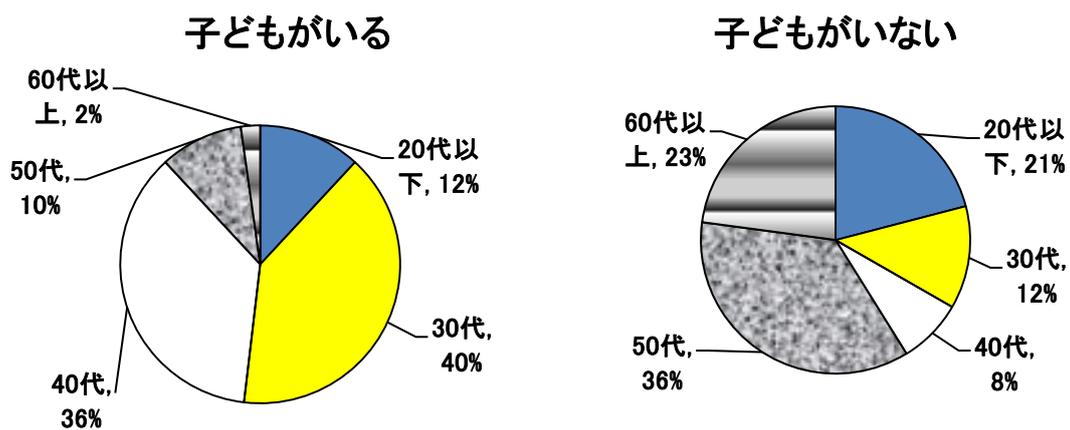
① 全体



(人)

全体	288
いる	135
いない	153

② 年代



(人)

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
いる	16	54	49	13	3
いない	32	19	12	55	35

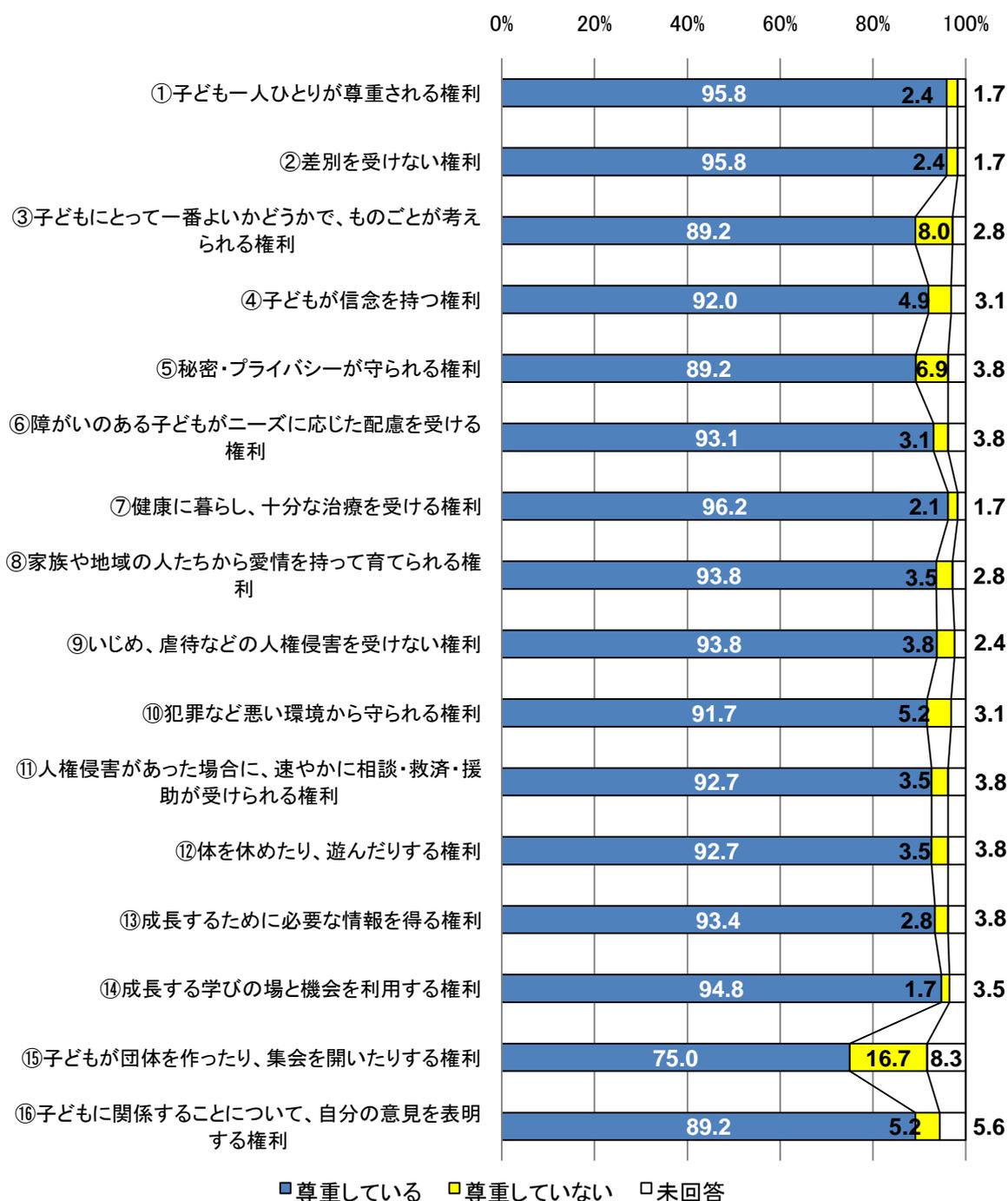
## 2 子どもの権利に対する理解

問1 子どもの権利条約に書いてある子どもの権利について、回答者が尊重しているかどうか。(単数回答)

### (1) 全体

「尊重している」と回答した割合が最も高かったのは、「⑦健康に暮らし、十分な治療を受ける権利」で96.2%であった。割合が最も低かったのは、「⑮子どもが団体を作ったり、集会を開いたりする権利」で75.0%であった。

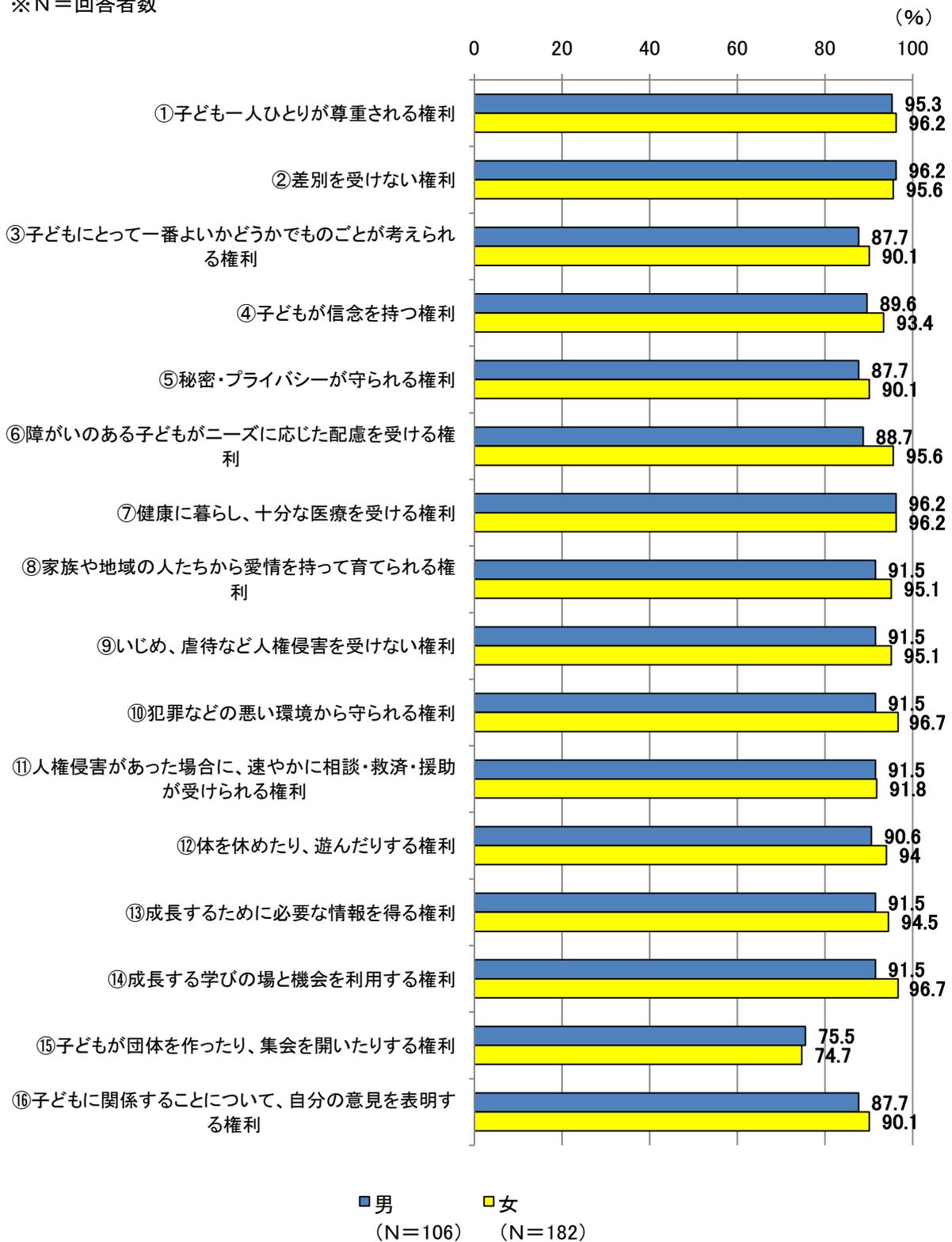
※N(回答者数)=288



## (2) 男女別（「尊重している」と回答した割合）

回答者の性別で子どもの権利に関する意識を比較すると、男女間では特に大きな差はなかった。

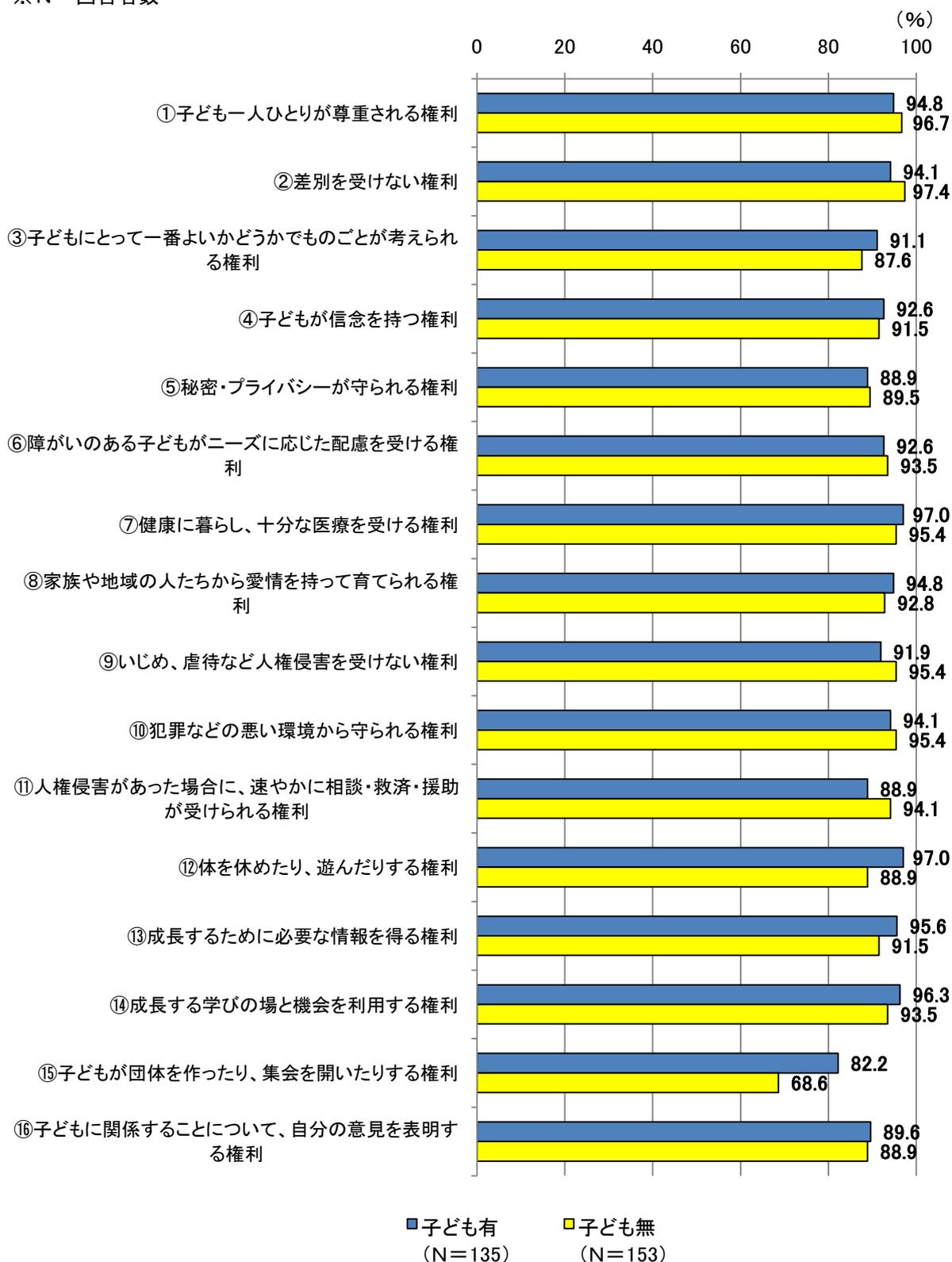
※N＝回答者数



### (3) 子どもの有無別（「尊重している」と回答した割合）

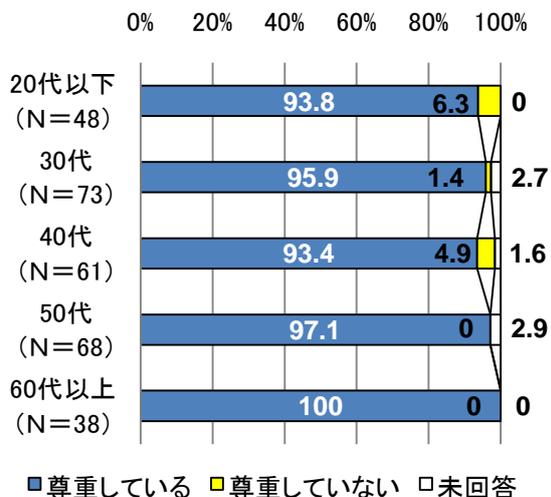
回答者に子どもがいるかいないかで子どもの権利に対する意識を比較すると、多くの項目はあまり差がないが、「⑮子どもが団体を作ったり、集会を開いたりする権利」については、子どもがいない回答者の意識が低く、子どもがいる回答者との差が13.6ポイントと大きく開いている。

※N=回答者数

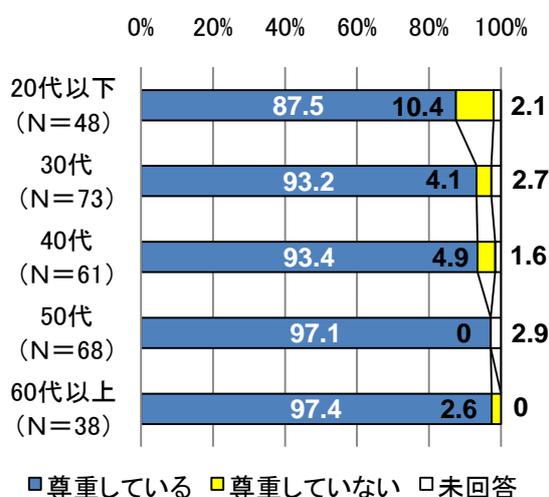


(4) 設問ごと、年代別 (※N=回答者数)

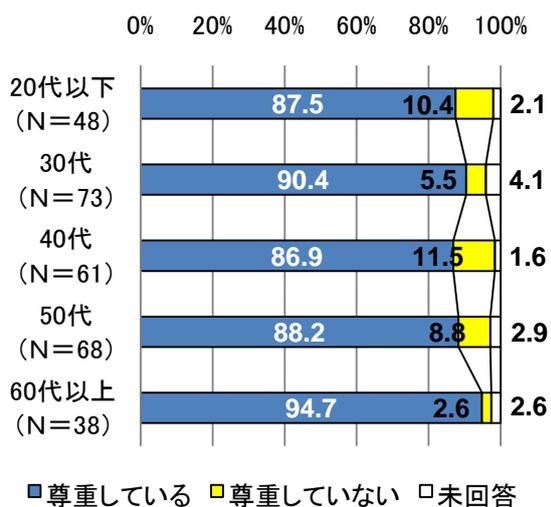
①子どもの一人ひとりが尊重される権利



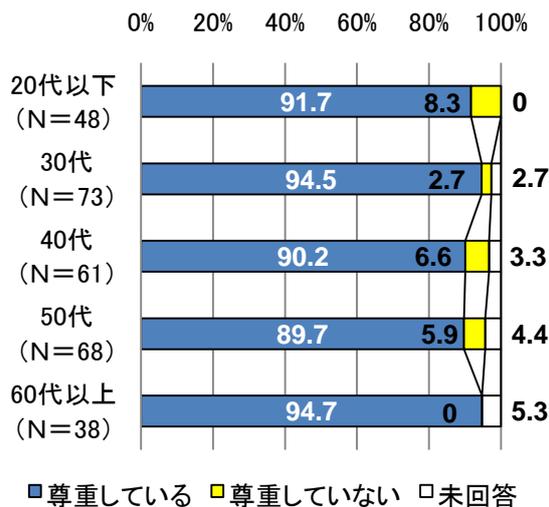
②差別をされない権利



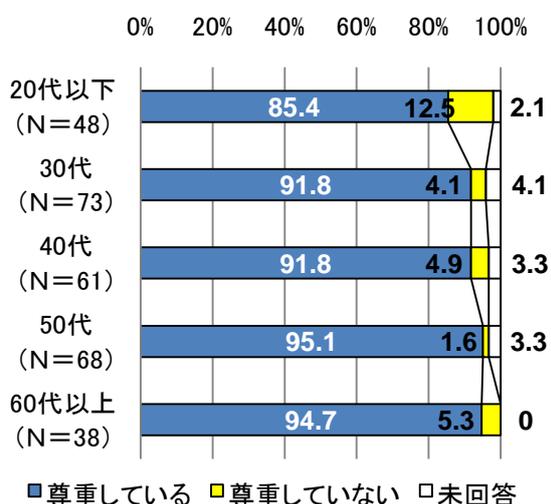
③子どもにとって一番よいかどうかで、ものが考えられる権利



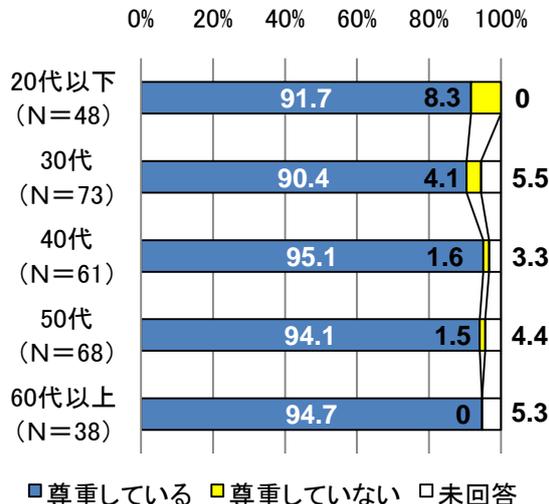
④子どもが信念を持つ権利



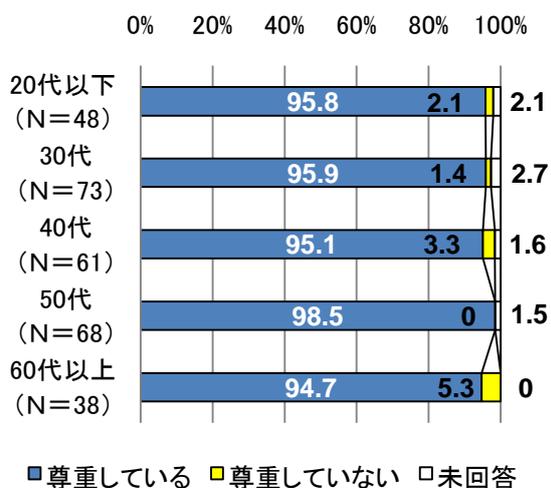
⑤秘密・プライバシーが守られる権利



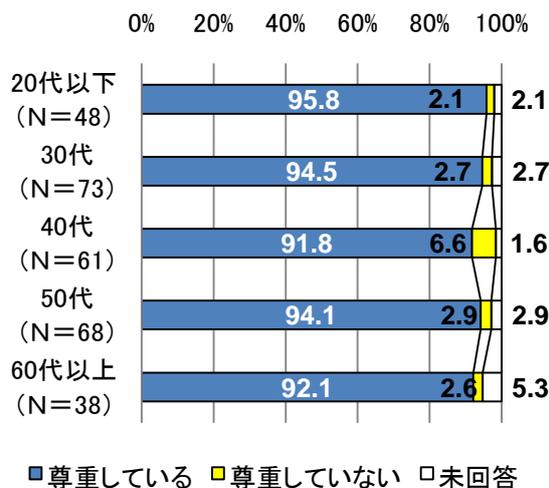
⑥障がいのある子どもがニーズに応じた配慮を受ける権利



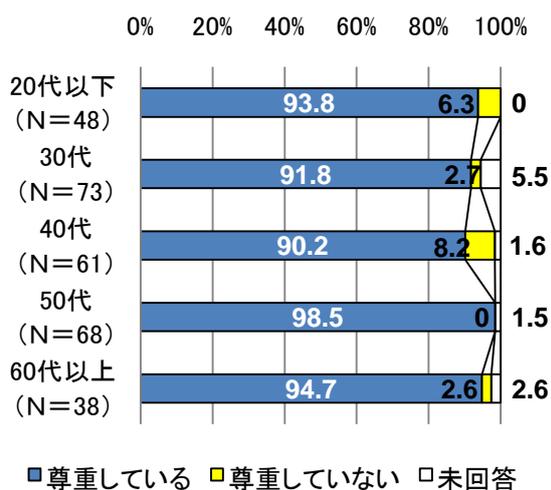
⑦健康に暮らし、十分な治療を受ける権利



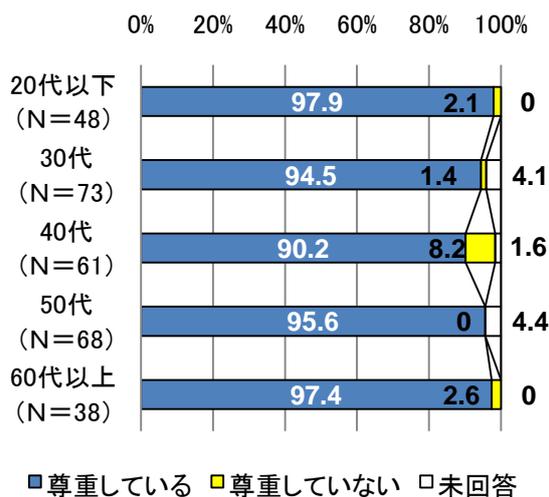
⑧家族や地域の人たちから愛情を持って育てられる権利



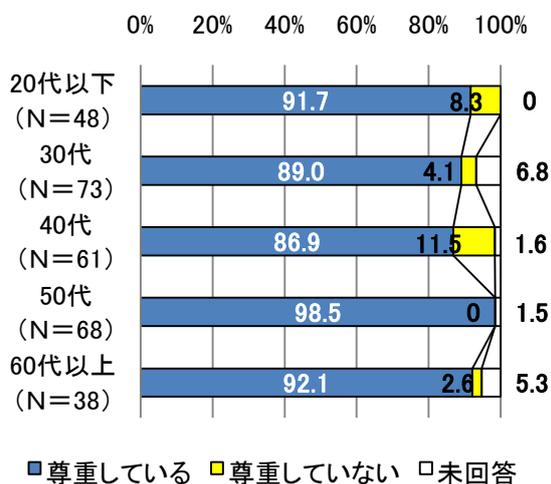
⑨いじめ、虐待などの人権侵害を受けない権利



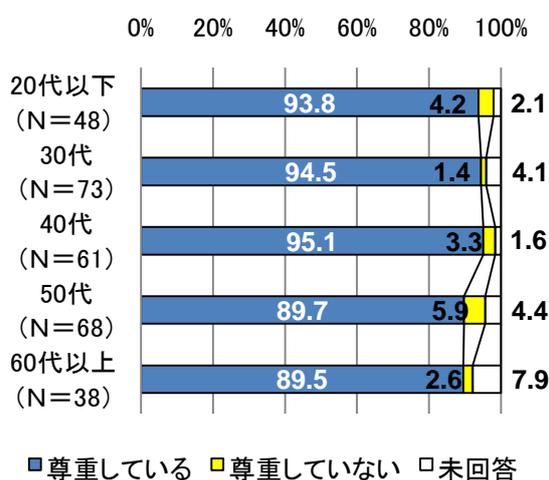
⑩犯罪などの悪い環境から守られる権利



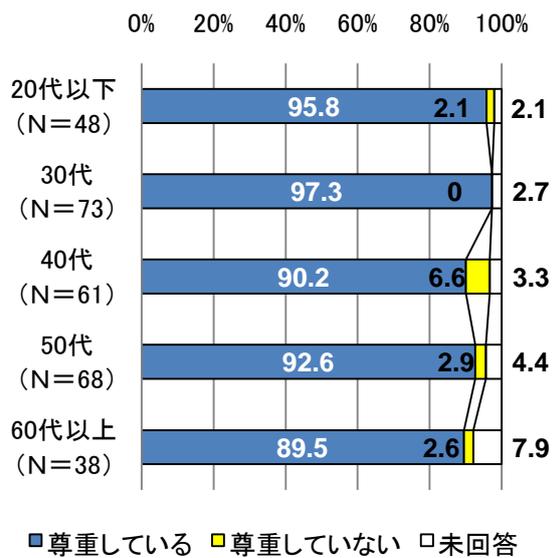
⑪人権侵害があった場合に、速やかに相談・救済・援助が受けられる権利



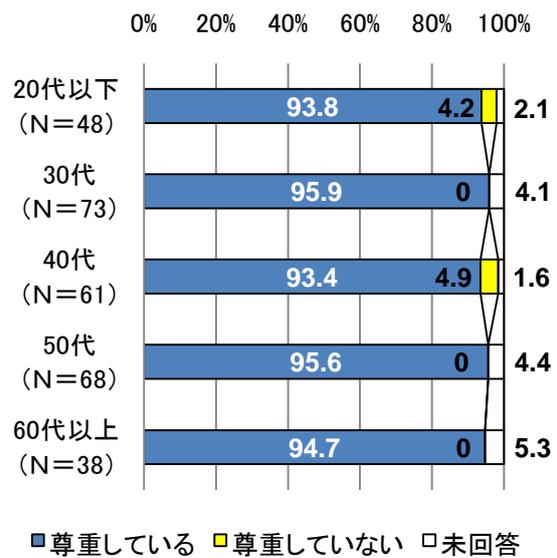
⑫体を休めたり、遊んだりする権利



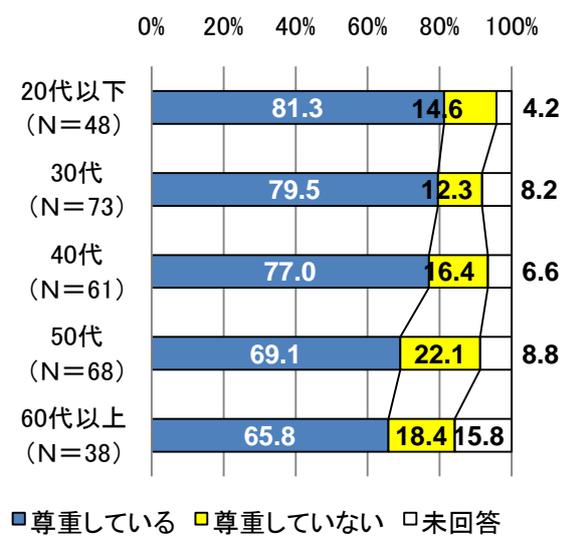
⑬成長するために必要な情報を得る権利



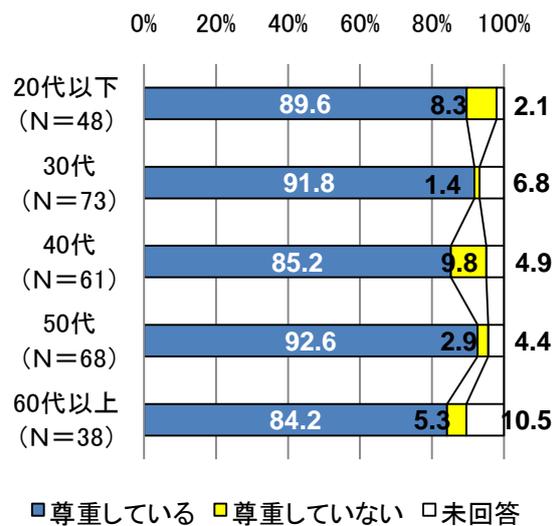
⑭成長する学びの場と機会を利用する権利



⑮子どもが団体を作ったり、集会を開いたりする権利

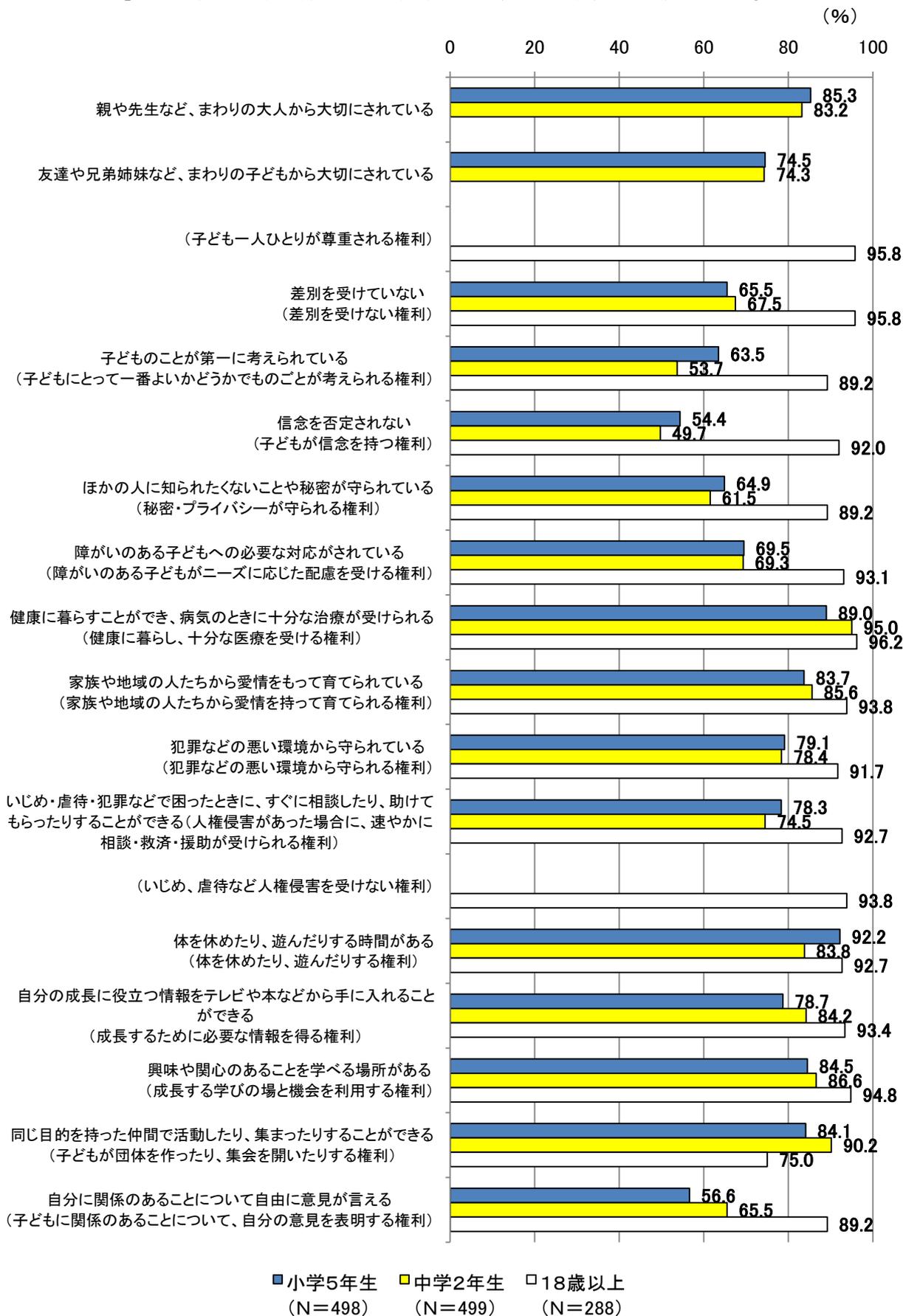


⑯子どもに関係することについて、自分の意見を表明する権利



(5) 小学5年生・中学2年生・18歳以上の比較 (※N=回答者数)

(小学5年生・中学2年生は「思う」と回答した割合、18歳以上は「尊重している」と回答した割合) ※ ( ) 内は、18歳以上の設問内容。



### 3 子どもを支援すべき大人について

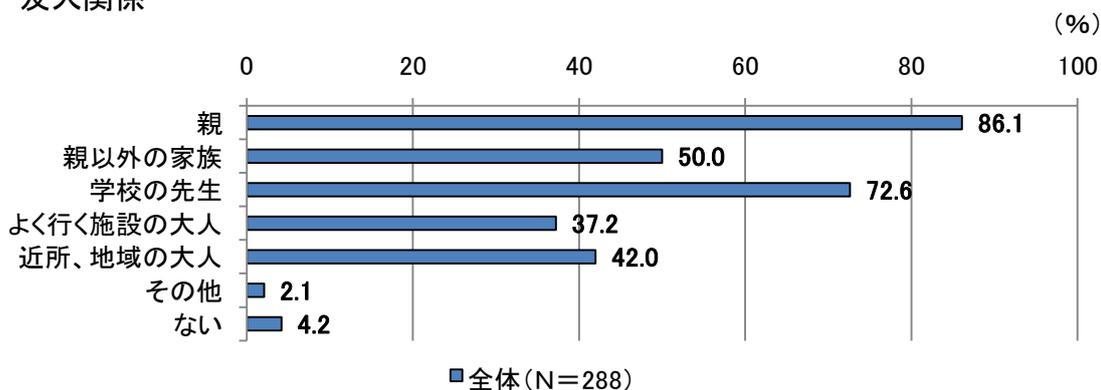
問2 子ども一人ひとりの発達段階に応じたそれぞれの生活の場面ごとに、支援すべき大人はだれか。(複数回答)

#### (1) 「生活の場面」別

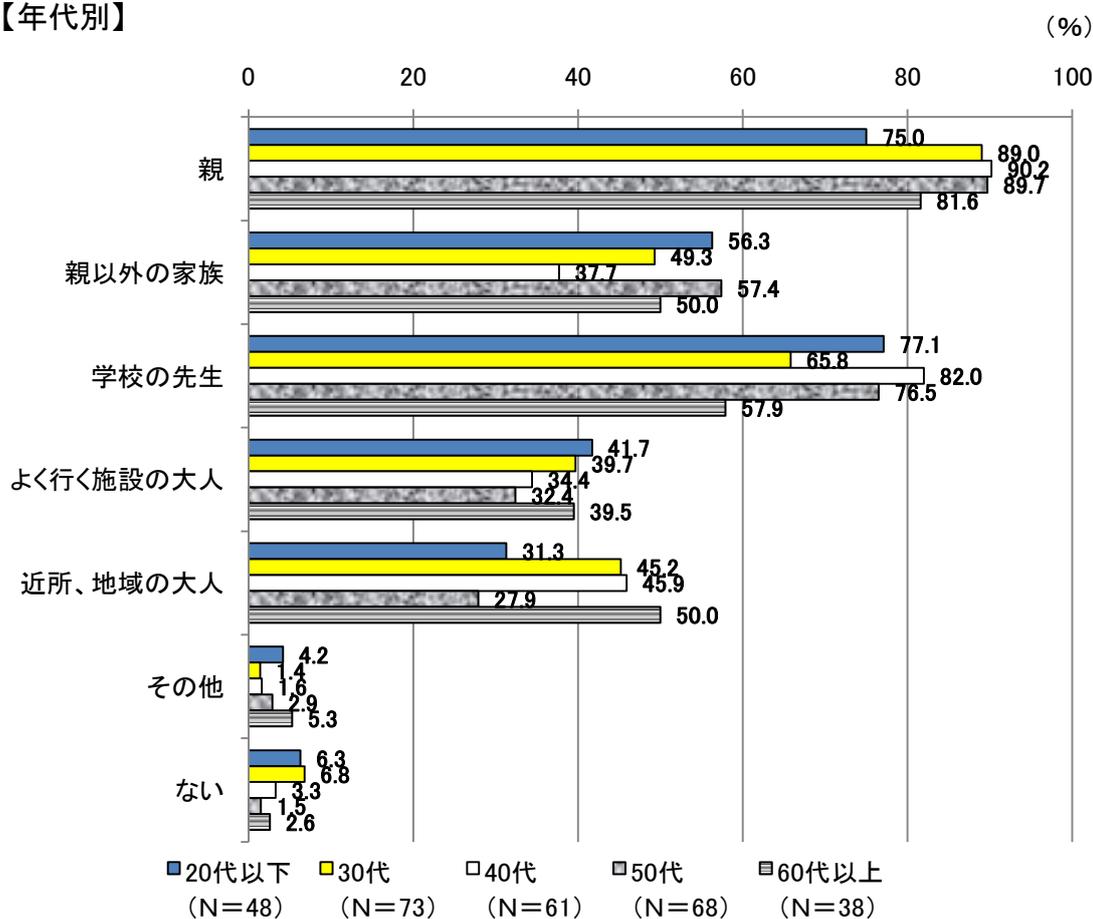
「①友人関係」、「②家庭生活」及び「⑥進路・進学」では、「親」と回答する割合が最も高かった。  
「③学校生活」及び「④勉強」では、「先生」と回答する割合が最も高かった。

※N=回答者数

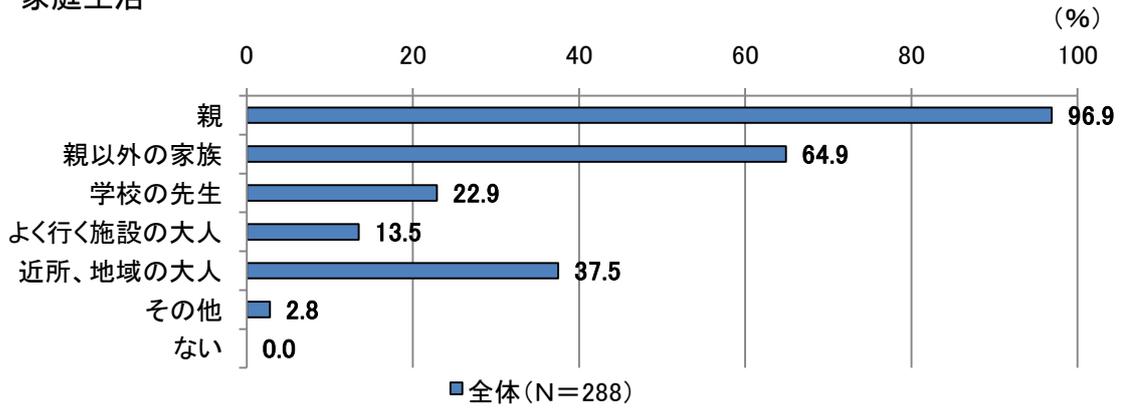
#### ① 友人関係



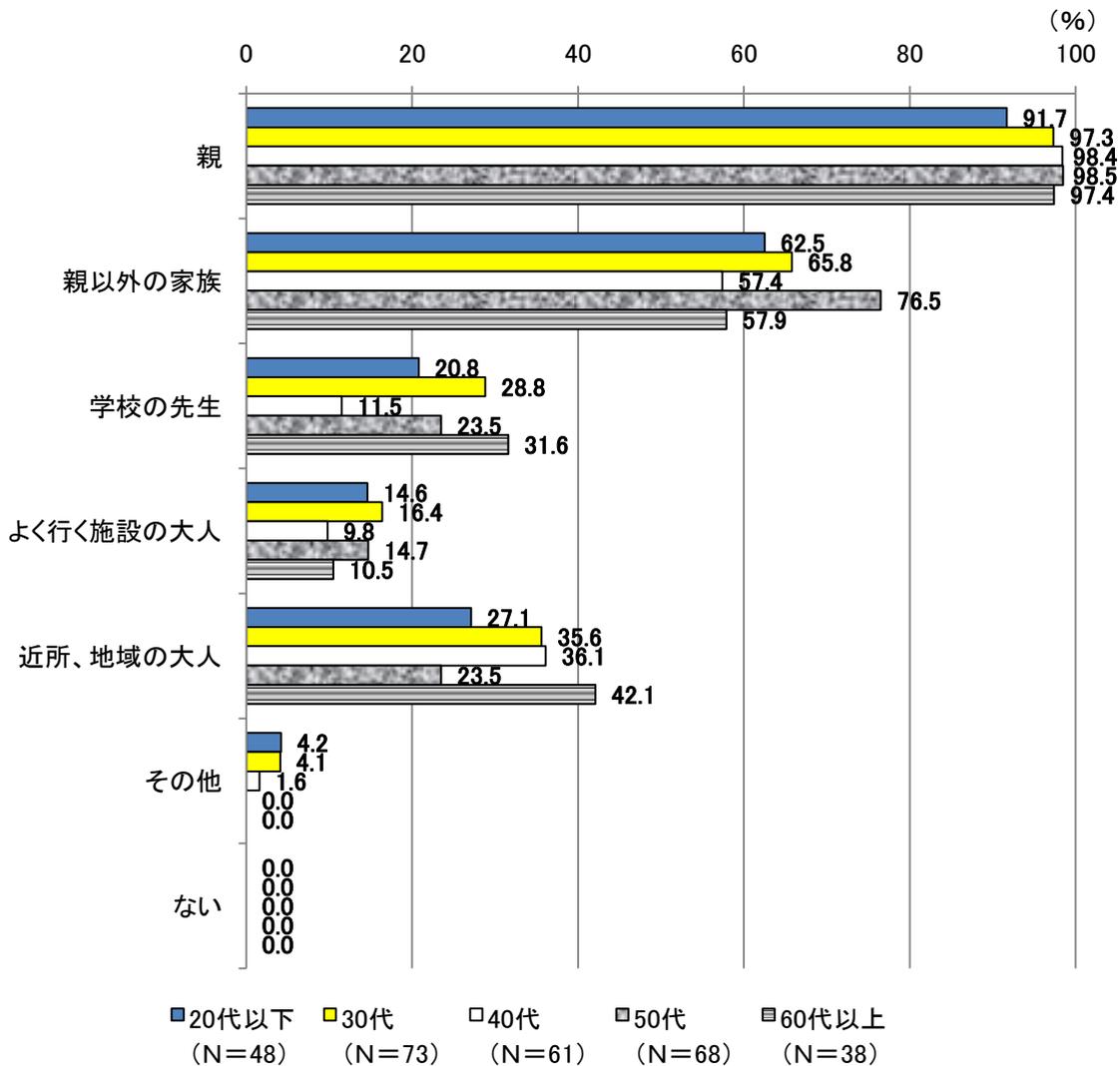
#### 【年代別】



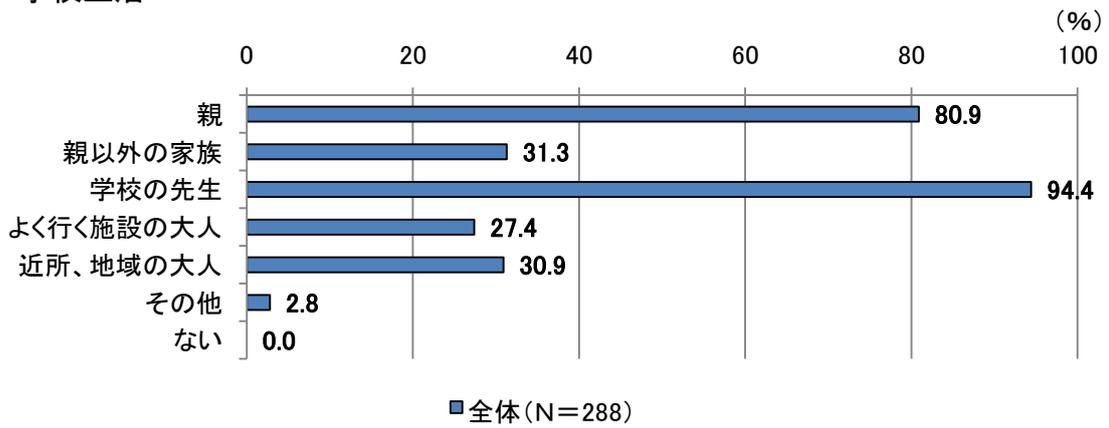
② 家庭生活



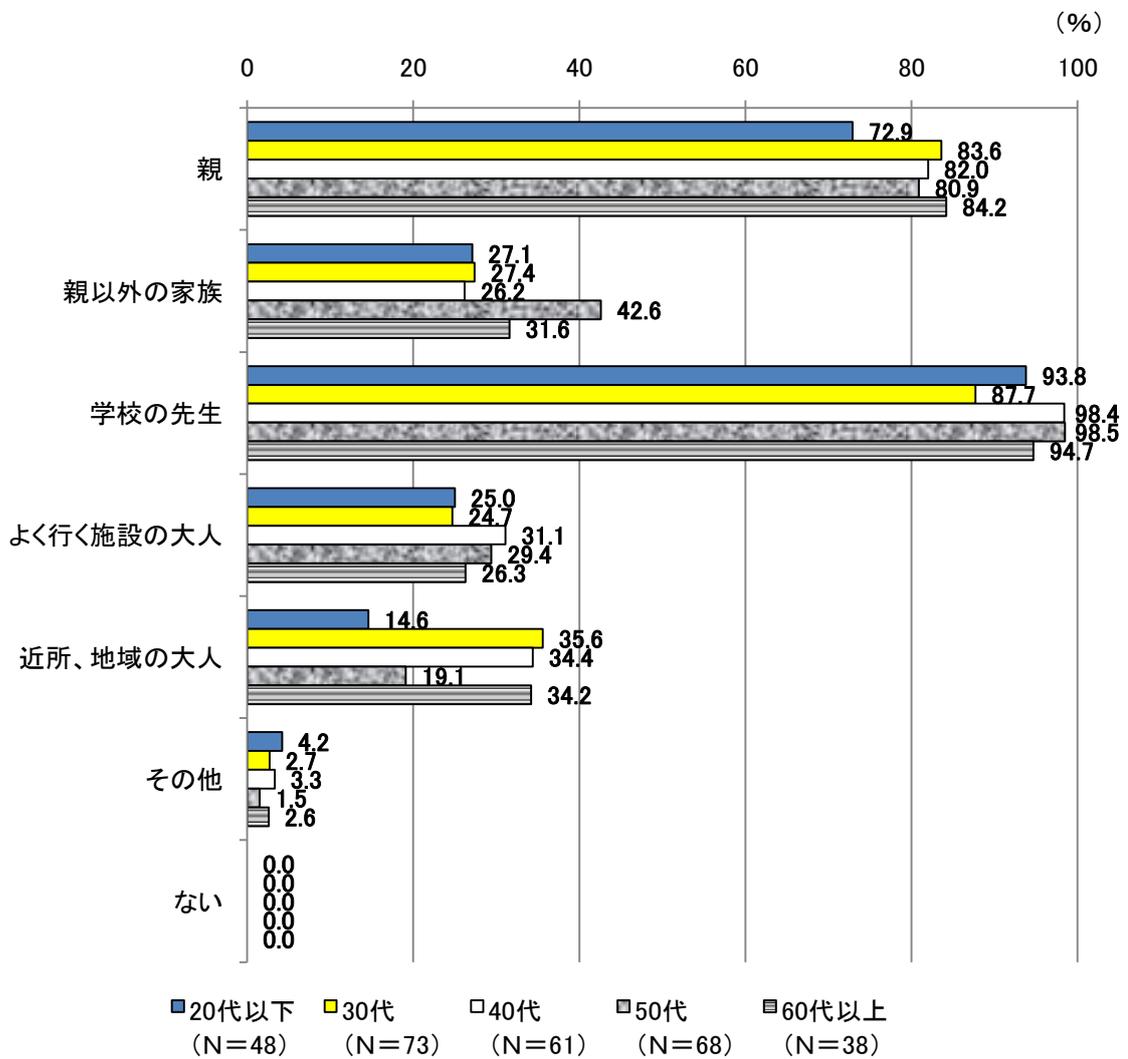
【年代別】



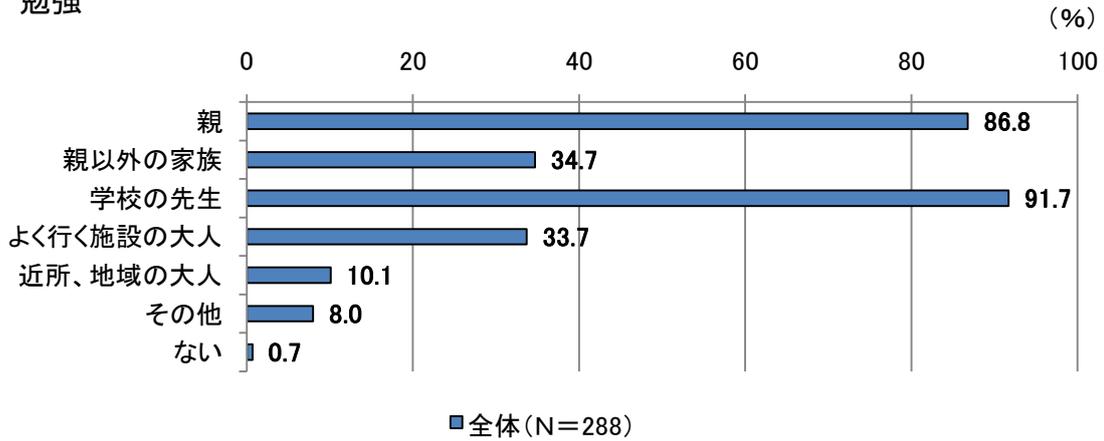
### ③ 学校生活



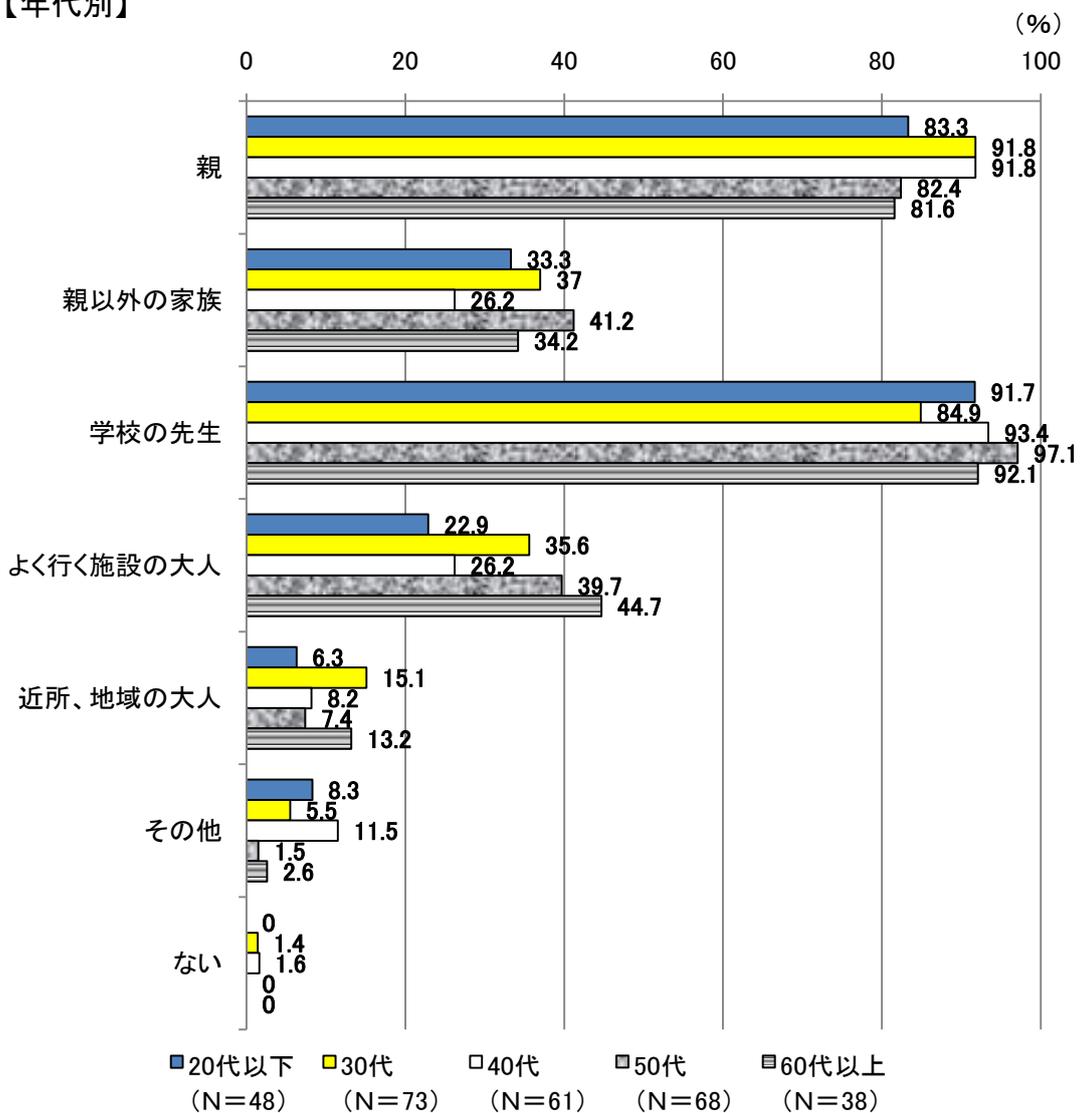
#### 【年代別】



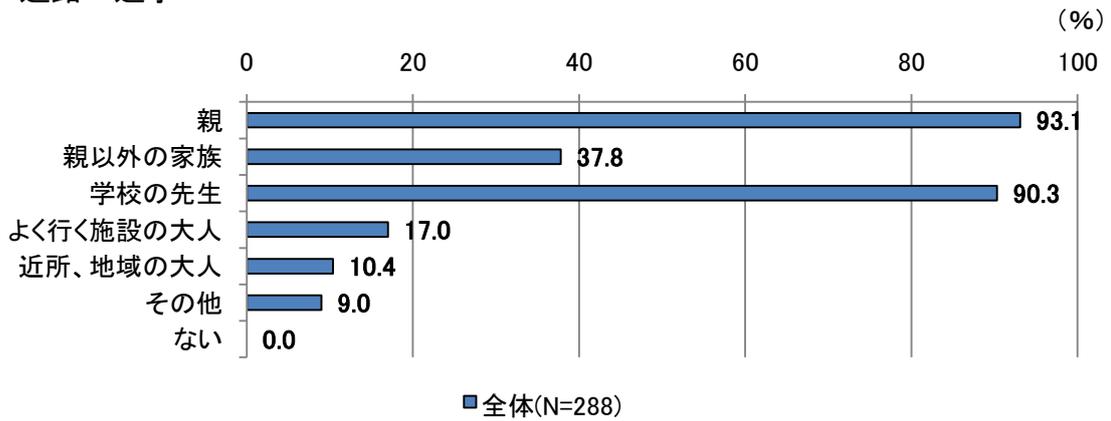
④ 勉強



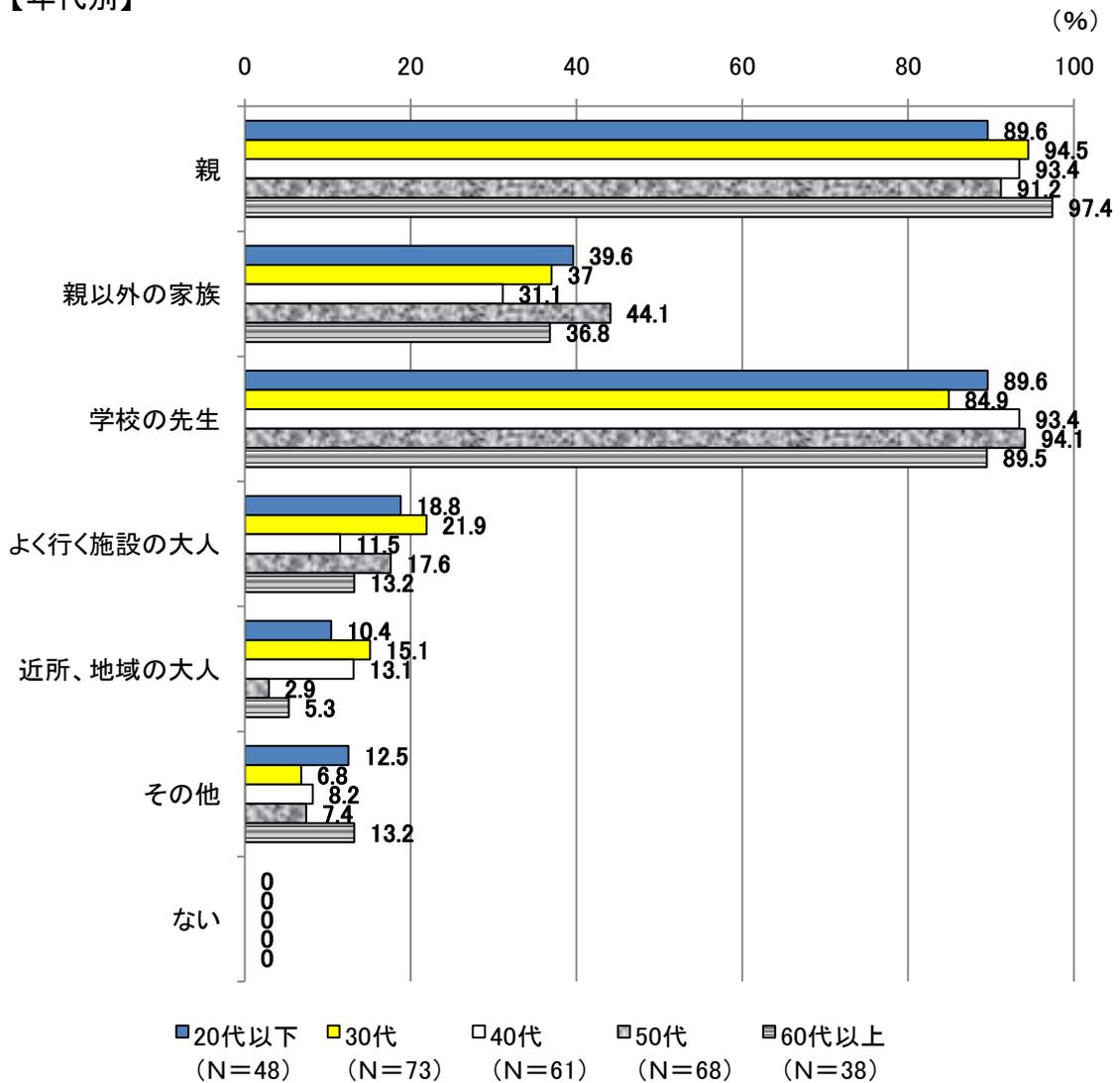
【年代別】



⑤ 進路・進学



【年代別】

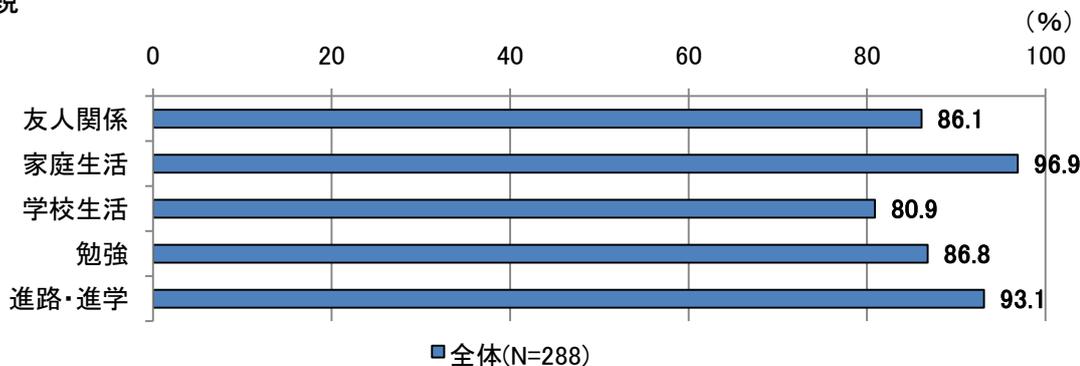


## (2) 「支援すべき大人」別

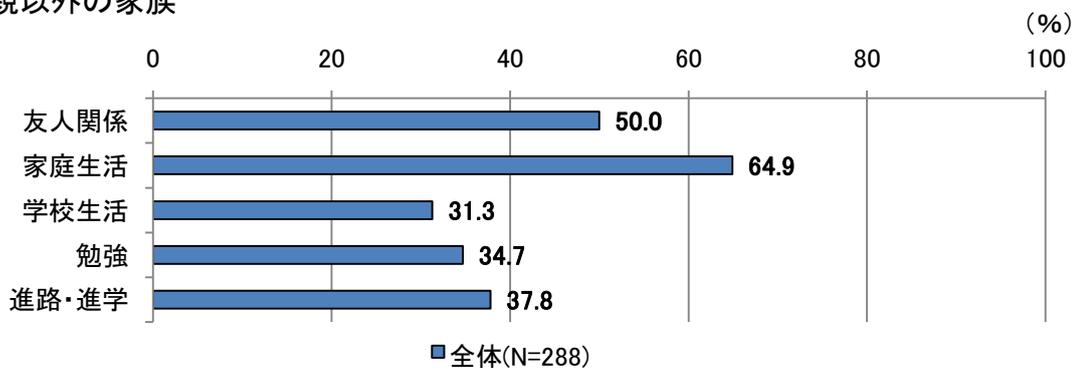
「①親」では、すべてについて80%を超えている。「⑤近所、地域の大人」では、「友人関係」と答える割合が42.0%と最も高かった。「⑥その他」では、「塾の先生」との意見が多数あった。

※N=回答者数

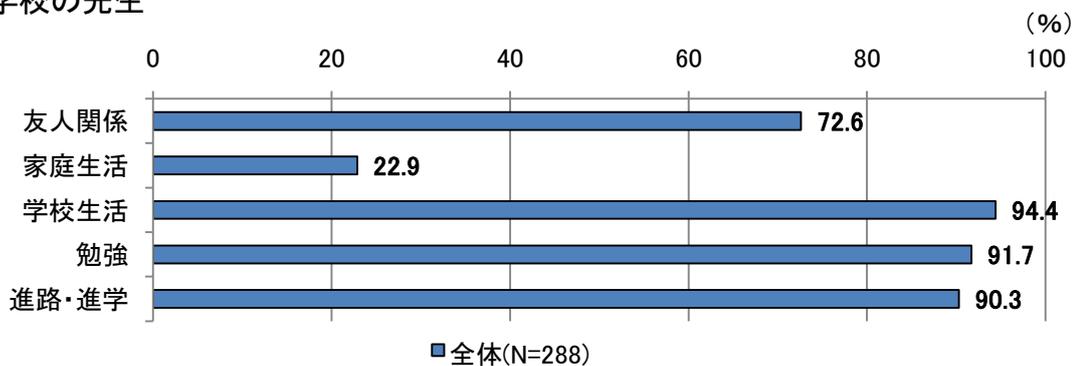
### ① 親



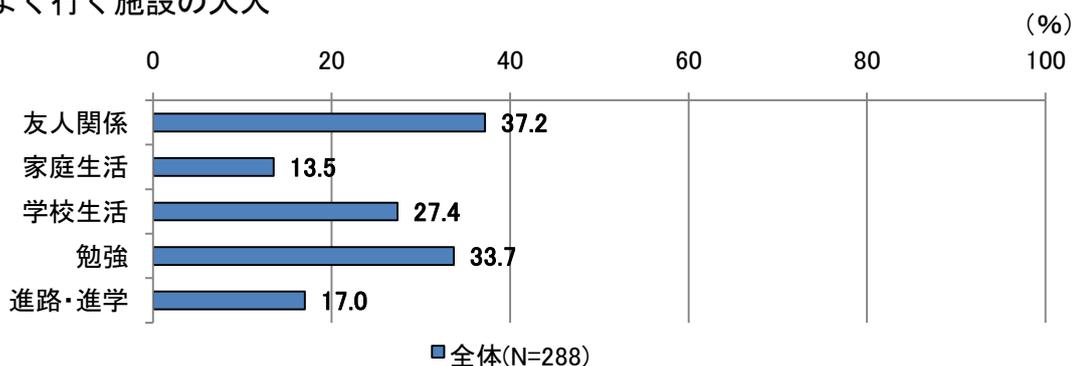
### ② 親以外の家族



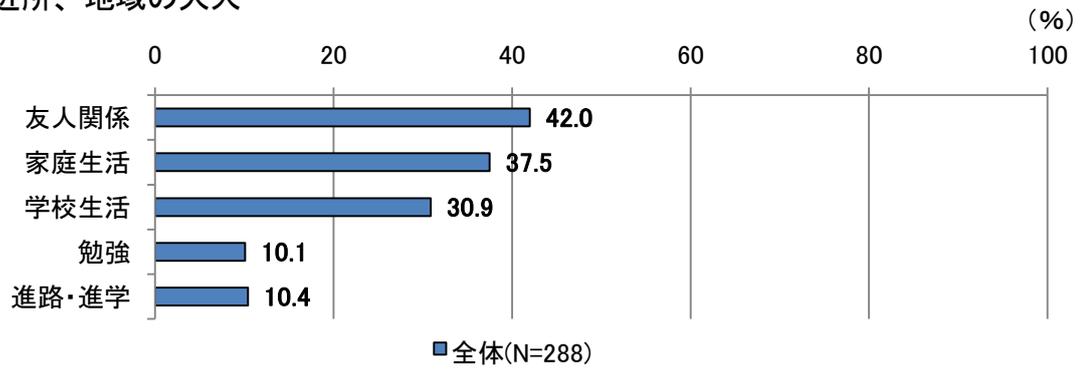
### ③ 学校の先生



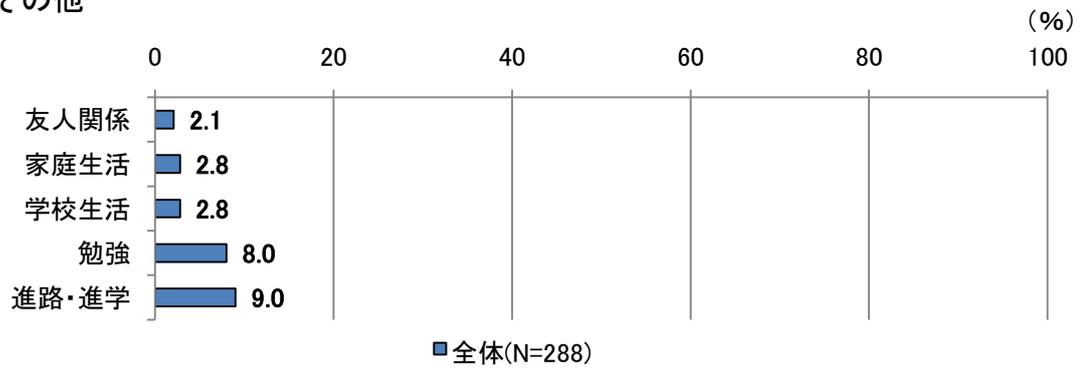
### ④ よく行く施設の大人



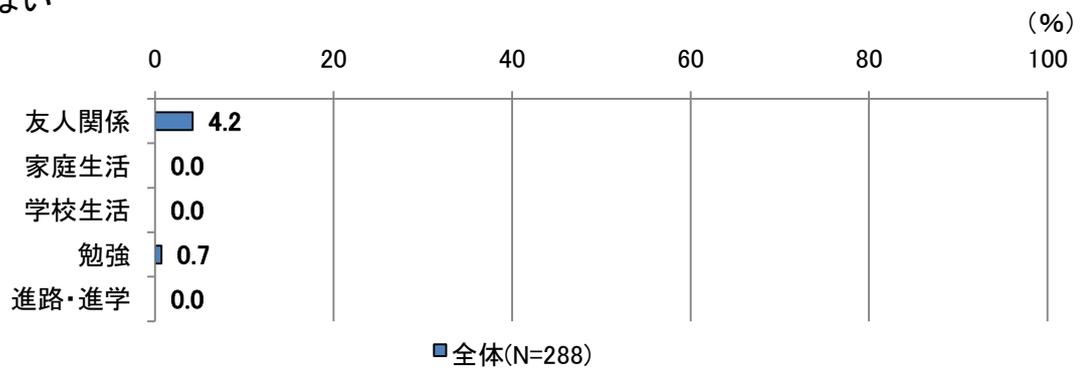
⑤ 近所、地域の大人



⑥ その他



⑦ ない



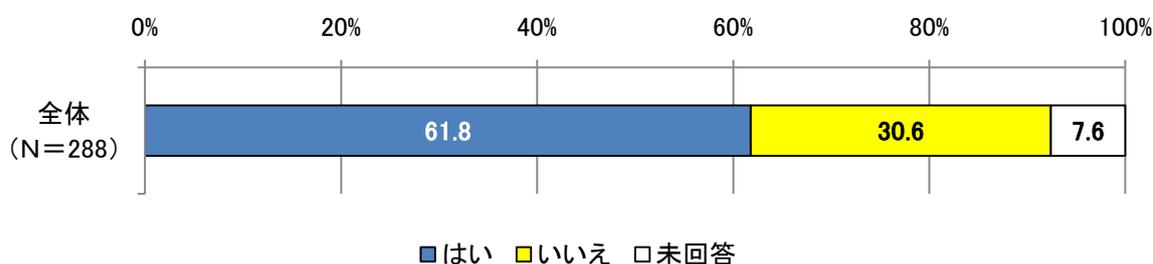
## 4 子どもの権利に関する条例について

問3 「(仮称) 東郷町子どもの権利に関する条例」の制定に関して、関心がありますか。(単数回答)

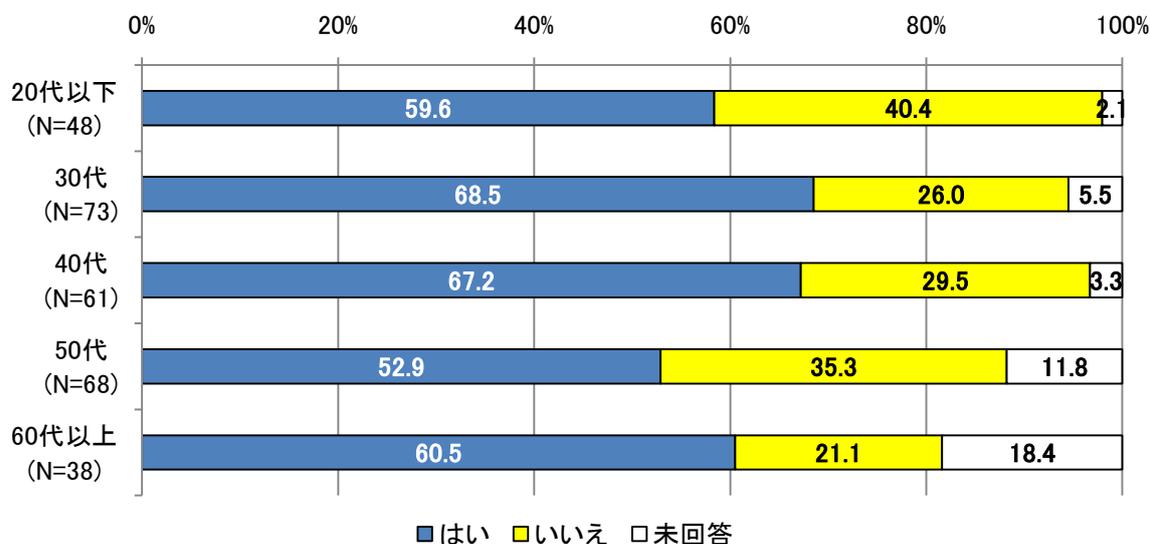
年代別で見ると、18歳未満の子どもを育てている30代、40代の割合が高い。子どもの有無別で見ると、18歳未満の子どもを育てている人の方が関心は高いと言える。

※N=回答者数

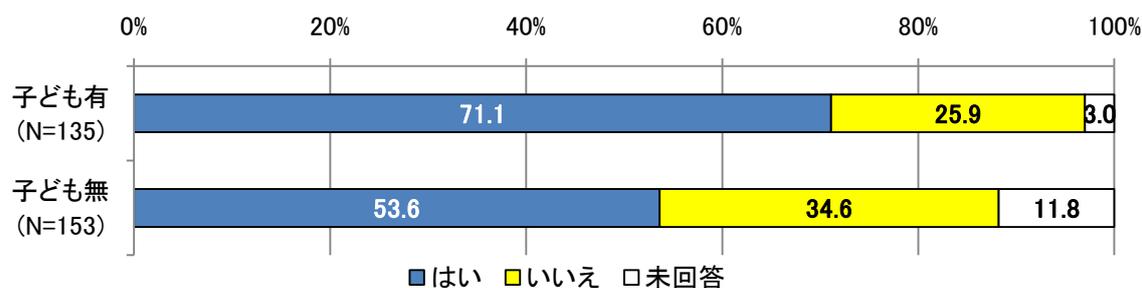
### (1) 全体



### (2) 年代別



### (3) 子どもの有無別



## 5 主な自由意見

---

---

次世代を担う子どもたちには、良い環境で健やかに育てほしいとの意見が多くあり、そのための条例制定となることを願っているようである。その一方で、権利を与えるばかりでなく、子どもでも義務を果たすことの大切さを学ぶようにしてほしいとの意見もあった。

---

### 〈条例の制定〉

- ・人間としての大切な子どもの権利を保障することのできる条例としてください。
- ・「子育てに力を入れます」「子育てしやすい町です」という外面のアピールだけにならないよう、本当の意味で子育てができる町になるような条例の制定をお願いします。
- ・子どものための条例ではなく、子どもの立場にたった、子ども目線で、子どもに寄り添う条例であってほしいと思います。まず、子どもに係る専門の方々に実践していただきたいと願います。
- ・条例で子どもや大人が縛られるようなものでなく、周囲の様々な大人のもと、子どもが伸び伸びと育っていくことができるような、子どもの可能性を広げる条例であって欲しい。
- ・権利もあれば義務もあると思います。子どもの場合に義務という言葉は変ですが、守るべきルールもあってこそその権利だと思います。うまく調和のとれた内容のものであってくれれば問題ないと思いますので、じっくり考えていただきたいと思います。
- ・義務を果たす事ができないのに権利ばかり増やすのはどうかと思う。権利を認めるならば何かしら義務を課すべき。
- ・子どもは地域の宝です。心身ともに健やかに将来に向かって夢と希望を持って日々過ごせるよう次世代を担う子ども達のために大人が果たす役割は重大です。東郷町の子ども達の全てが幸せに過ごせますように。条例作成が今後の行政運営に意味を持ちますよう願います。
- ・「子育てのまち東郷」として権利条例の制定はとてもよいと思います。「東郷町で子育てしたい」と思う環境にするには、「地域みんなで子育てをサポートする」という住民の意識やしぐみが必要だと感じます。
- ・子どもは守られるべき人だと思っています。子どもの権利に関する条例を制定しなければならないということは、前述のそれが難しくなった環境だということなのですね。今以上に常識ある成人が減らない事を望みます。又、制定される事によって多くの困窮した子ども達が救われる事を願います。決して条例だけの一人歩きにならないように。
- ・具体性が見えてこないのが意見のしようがありません。アンケートにあった「子どもの権利条約」を踏襲するものなのか、東郷町として別の条約を作るのかもわかりません。子どもの権利を大人が決めても良いものなのか。虐待やいじめに軸足を置いた事に関しては興味があります。条例をもとに風俗的な物の規制や公園などの公共施設などを増やすなどを盛り込んだものであれば非常に興味を持てます。
- ・制定の検討についてあまり知られていないと思います。周知に力を入れる必要があるのではないのでしょうか。

### 〈子どもを取り巻く環境づくり〉

- ・条例を制定することよりもまずは子どもが健やかに成長するために”環境づくり”が大事かと思っています。条例とは「文面の上での理想論」だけのように感じそれを支援していく働きかけがなければ制定しても意味のないものだと思います。
- ・少子化のなかで、将来の貴重な戦力となる子どもを守り育てるには、第一に親、学校の先生方がいると思いますが、加えて地域（隣近所）の協力も欠かせません。ついてはこのような環境、雰囲気醸成することが肝心かと思っています。

- ・東郷町は子育てのしやすい町だとよく言われますので、この先も子どもたちが伸び伸びと育ち、また育てられる町作りを期待しています。
- ・子供が自分自身の権利を持つと言うことは大切だと思います。ただ、子供だけではどうにもならないこともたくさんあると思うので、親やまわりの大人がその助けをしていければいいと思います。
- ・東郷町は、保育園も児童館も学校給食も充実しており、大変子供もが、お世話になりました。イジメなどは、隠蔽することなく、教育に関係する機関全てで、取り組んで下さることを希望します。
- ・権利を守るために、町が具体的に何をするか明確に示してください。子どもが安心して生活したり、遊んだり、通学できるように、歩道や防犯灯の整備、公園の充実をしてください。
- ・障害をもつ子に対する理解が、足りない気がします。身体や目や耳の障害に対する学校での教育はありますが、知的・精神障害に対する配慮などを教育に盛り込まれてないように思います。
- ・私の子育て時代と比べて、働くお母さんが増え、子供だけで母親が帰宅するのを待っている子供が多いと思います。幼児なら託児所に預け、小学生ならば学童保育などに預けて、頑張っている、お母さん達のためにも、安心して安い価格でみてもらえる施設が沢山できると良いと思います。
- ・今の世の中は次の世代を担う子どもたちにとって勉強ができることや将来社会に出ても仕事が優秀にできることの方が優先される世の中のような気がします。確かに私自身そのことも大事だとは思いますが、もっと子どもたちにとっては人間として温かさや思いやり、人間としてのきれいな心を育むことができるような学校や社会を大人達がつくっていくことの方が大事だと思います。そういったことも念頭に置いて、学校を運営する町の方達も色々な条例を作っていくことを希望します。